

DeLonghi

ELETTA EXPLORE

Full Automatic Coffee Machine

デロンギ エレッタ エクスプロア 全自動コーヒーマシン

型式番号

ECAM45055 家庭用

※本体の型式番号「ECAM45055」の後に続く
アルファベットは、色番号を表すものです。



取扱説明書（保証書付）

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

- 本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。
- 本書のイラストや画像は説明用のものであり、実際の製品と一部異なる場合があります。

目次

使う前に	安全上のご注意	2
	コーヒーマシンのご紹介	4
	はじめにご確認ください	8
	各部のなまえとはたらき	9
	初めてお使いになる前に必ずすること	12
基本編	抽出前の準備をする	14
	コーヒーを抽出する	17
	ミルクメニューを抽出する	19
応用編	テイクアウトメニューを抽出する	21
	コーヒーポットを使う	22
	紅茶／お茶をいれる	23
	ドリンクをカスタマイズ（定量設定）する	24
	プロフィールの作成、編集、選択	25
	便利な機能、その他の機能	26
こんなときは	お手入れ	32
	石灰（白い付着物）を除去する	38
	表示一覧	40
	故障かな？	42
	抽出量	44
	仕様	45
	アフターサービス	46
保証書	47	

安全上のご注意〈必ずお守りください〉

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



警告

誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



警告



定格 15A (100V) のコンセントを単独で使用する

(火災、感電の原因)

- ※ ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しないでください。
- ※ 海外など異なる電源電圧の地域で使用しないでください。(日本国内専用)

電源プラグは根元までしっかり差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりは定期的 に乾拭き掃除をする

(火災の原因)

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ を持って抜く

(火災、感電の原因)

異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけどの原因)

〈異常、故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- 異常な音やにおいがする
- 本体に破損や変形がある
- 本体から水や蒸気が漏れる

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

しっかり固定された平らな場所に設置する

(やけど、けがの原因)

- ※ 設置の方法は 8 ページ参照



本体や電源プラグ・コード、コンセントに 水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたり しない

(火災、感電の原因)

誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

濡れた手で本体を触ったり、電源プラグ を抜き差ししない

(感電の原因)

動作中に電源プラグを抜き差ししない

(火災、感電の原因)

電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- 傷付けたり、加工したり、加熱したりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
- コードを引っ張って本体を移動させない

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

製品の表面にひびが入っている場合は使用 しない

(火災、感電、けがの原因)

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)

警告



子供など取り扱いに不慣れな方、介助を必要とする方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない

(火災、感電、やけど、けがの原因)

※ 本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。お子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。また、子供が機器（電源コード含む）で遊ばないように監視してください。

使用中や使用直後に、本体や水タンクのふたを開けたり、水を入れたりしない

(やけどの原因)

※ お湯が吹き出す場合があります。



穴、すき間、開口部に指やピン、針金などを差し込まない

(火災、感電、けがの原因)

※ 特にお子様にはご注意ください。

豆ホッパーやパウダー投入口に液体を入れない

(火災、感電の原因)

注意



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)

お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体各部や付属品が冷えてから行う

(感電、けが、やけどの原因)

※ お子様だけで掃除やお手入れを行わないよう、必ず大人が付き添ってください。



使用中および使用後しばらくは、高温部に直接触れない

(やけどの原因)

● 抽出口、給湯ノズル、ミルクノズルなどは使用後も余熱があるので触れない

電源の入切をするための部品（外部タイマーなど）やその他の製品、部品、遠隔操作システムなどを組み合わせて使用しない

(火災、感電の原因)

本製品を業務用で使用しない

(火災、感電の原因)

※ 本製品は次の用途を含む家庭用電気製品です。使用者が必要なときに読めるよう、手の届く所に本書を保管してください。

- ・店舗、事務所、仕事場などのスタッフ用キッチン
- ・ファームハウス
- ・ホテル、旅館、民宿などの宿泊施設



他の用途で使用しない

(火災、感電、けがの原因)

火気の近くや直射日光が長時間あたる場所で使用しない

(火災、感電の原因)

- 熱源の近くで使用しない
- 屋外や湿気の多い場所で使用しない

抽出中や給湯中にトレイを取り外さない

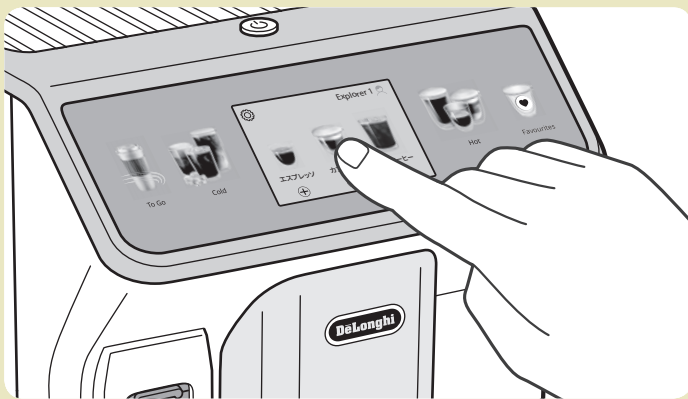
(やけどの原因)

扉付きのキッチン用収納棚やキャビネットの中に置いたまま使用しない

(火災、やけどの原因)

コーヒーマシンのご紹介

コーヒーマシンでできること



ワンタッチで挽きたて本格コーヒー

見やすいカラーの液晶ディスプレイを搭載した操作しやすくスタイリッシュなデザイン。豊富なメニューバリエーションを楽しめます。

無限に広がるコーヒーの世界をこれ一台で

ラテクレマシステムで、ふわふわミルクも簡単。カプチーノやカフェラテはもちろん、カフェで飲むようないろいろなメニューが楽しめます。



最適な抽出技術で理想的なエスプレッソ

まるでバリスタが入れたような、ふかふかなクレマ（表面を覆う細かい泡）を実現。グラニュー糖を載せてもすぐには沈まない厚みのあるクレマが、エスプレッソの香りを包み込みます。

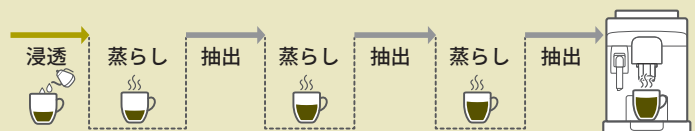


日本限定メニュー「カフェ・ジャポアーネ」



※イラストはイメージです。実際の抽出方法とは異なります。

ハンドドリップのように豆を蒸らしながら抽出する深蒸しレギュラーコーヒー機能。エスプレッソの旨味とドリップのすっきりした後味が融合した日本人好みのメニューです。

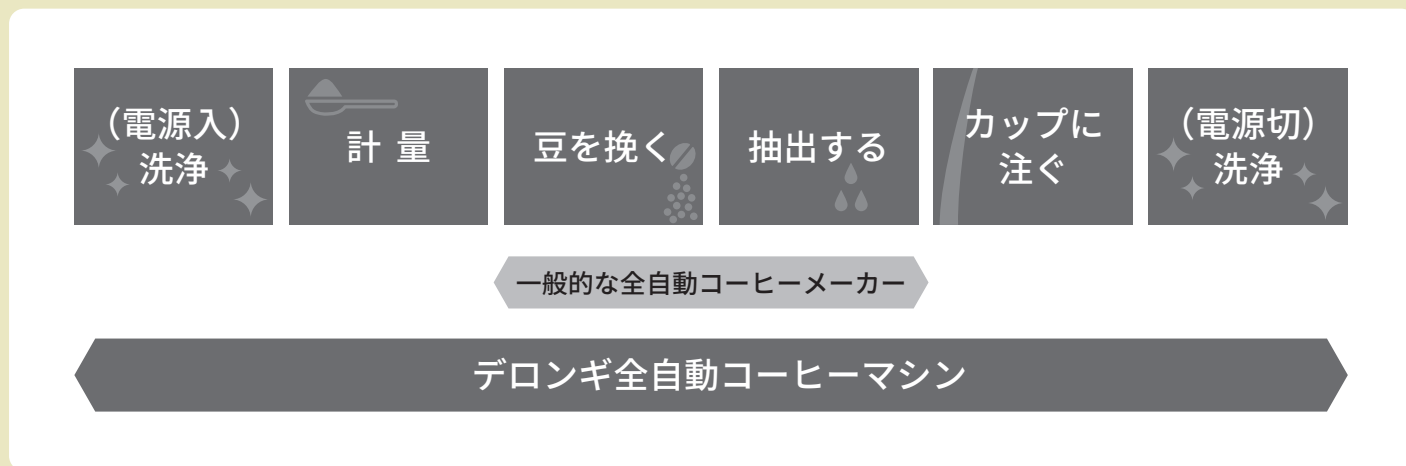


お好みのコーヒーにカスタマイズ

コーヒーの濃さ（1回に挽く豆量）やコーヒーの量、抽出温度を選べます。あなただけのカスタマイズメニューを簡単に設定でき、そのメニューをプロフィールに保存できます。お気に入りメニューも👉をタップするだけで登録できます。

自動洗浄で内部はいつも清潔

自動はコーヒーの抽出だけではありません。コーヒーマシンの電源を入れたとき、切るときには自動で内部を洗浄するので、前回の汚れを気にする必要がありません。



コーヒーをいれるまでの流れ

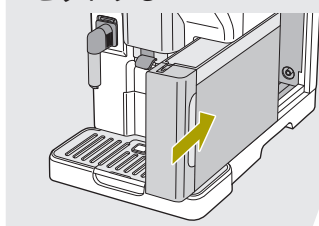
初めてお使いになる前の準備

本体内部の空気抜き
(12 ページ)

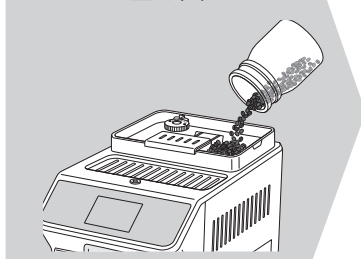
水硬度の確認
(13 ページ)

コーヒーをいれるときの流れ (14 ページ)

水タンクに水を入れて
セットする



コーヒー豆を入れる



カップをセットする



ホーム画面から
ドリンクメニューを
選びタップする









コーヒー粉でいれることもできます。(18 ページ)

コーヒーマシンのご紹介 (つづき)










こんなメニューが作れます

エスプレッソ、カフェ・ジャポネ、カプチーノ、ラテマキアートなどホット 18 種類、コールド 8 種類のコーヒーマニュー、お茶メニューや給湯が選べます。

コーヒーマニュー

-  **エスプレッソ** : イタリアの伝統的コーヒーの代表格。濃厚で深い味わいの香り豊かなコーヒー。
エスプレッソ(x2) : さまざまなバリエーションのベースとなります。
-  **スペシャルティ** : フルーティィー^{※1}なライトコーヒー。
豆のテロワール^{※2}を最大限に表現し、すっきりした繊細な味わいを演出します。
※1ご使用される豆により異なります ※2産地特徴
-  **カフェ・ジャポネ** : 深蒸しレギュラーコーヒー。
豆をハンドドリップしたように蒸らしながら抽出し、芳醇な香りと旨味を実現します。
-  **ドッピオ+** : コーヒー豆を贅沢に使用した、香り高く濃密なコーヒー。
力強い風味で余韻が長く続くのが特長です。
-  **アメリカーノ** : エスプレッソにお湯を注いで作ります。
-  **アメリカーノ (コールド)**
-  **アイスコーヒー** : 氷の上から注ぎ急冷して作る、香り高くコクのあるアイスコーヒー。
-  **コーヒーポット** : コーヒーポットなどの大きい容器に2杯～6杯分のコーヒーを抽出します。

ミルクメニュー

-  **カプチーノ** : ”イタリアの僧侶の頭巾” という意味から名付けられたカプチーノ。
エスプレッソにフロスマルクをたっぷり加えて作ります。
-  **カプチーノ+** : 濃密さとフレーバーの余韻を残す、ドッピオ+をベースに作られる香り高いカプチーノ。
-  **カプチーノMIX** : エスプレッソの後にフロスマルクを注ぐことで、ミルクとコーヒーのフレーバーが調和します。
-  **ラテマキアート** : マキアートはイタリア語で「染み」を意味します。
エスプレッソにフロスマルクを注いで作ります。
-  **エスプレッソマキアート** : エスプレッソの後にフォームミルクが馴染んで、まろやかさを演出します。
-  **カフェラテ** : エスプレッソにたっぷりのスチームミルクを加え、仕上げに少量のフロスマルクを表面に浮かび上がるように注いで作ります。
-  **フラットホワイト** : 多めのエスプレッソにフロスマルクを注いで作る、オーストラリアやニュージーランドで人気のメニュー。コーヒーの味が強いのが特長です。
-  **コルタード** : 少量のホットミルクでエスプレッソを割って作ります。
-  **ミルク** : スチームミルクやフロスマルクを作ります。

カプチーノ(コールド)、カプチーノMIX(コールド)、ラテマキアート(コールド)、カフェラテ(コールド)、フラットホワイト(コールド)、コールドミルク：ラテクレマクールを使用して作るミルクメニュー。

材料と道具を用意しましょう

おいしいエスプレッソのために

コーヒー豆

エスプレッソ用として売られているものや、やや深煎りのコーヒー豆（ハイロースト、シティロースト、フルシティローストなど）がよいでしょう。挽いてあるコーヒー豆を使う場合は、極細挽きや細挽きが適しています。



ご注意

- インスタントコーヒー、ココアパウダーはお使いいただけません。
- 過度に油分の多いコーヒー豆は、豆を挽くグラインダーに引き込まれにくくなるため、使用を避けてください。
- フレーバーコーヒーを使う場合は、あらかじめ挽いたもの（粉）をお使いください。

水

水道水や軟水（硬度：90mg/L以下）のミネラルウォーターが適しています。



ご注意

- 硬水を使用すると、カルキ分が詰まりやすくなり、故障の原因となる場合があります。
- ミネラルウォーターや浄水器を通した水を使用する場合は、残留塩素の殺菌効果がないため、カビなどが発生しやすくなります。衛生上、各部の定期的なお手入れ（32ページ）を必ず行ってください。

カップ

厚みがあり、底がすぼまった形のものが、冷めにくくおすすめです。エスプレッソには、容量60mL前後のものが適しています。カプチーノには、高さ12cm以内で容量180mL前後のものが適しています。テイクアウトメニューやコーヒーポットは抽出量に合わせた容器を選びます。



カプチーノやカフェラテを作るときは

ミルク

新鮮でよく冷えたミルクをお使いください。使う直前まで冷蔵庫に入れておきましょう。温度やミルクの種類、成分により仕上がりが異なります。



	LatteCrema SYSTEM （ホットメニュー）	LatteCrema COOL SYSTEM （コールドメニュー）
牛乳	○	無脂肪牛乳 （乳脂肪分0.5%未満）のみ可
植物性ミルク （豆乳、アーモンドミルク、オーツミルク）	○	○

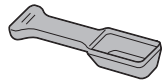
はじめにご確認ください

必ず「安全上のご注意」を確認してください

本体を設置する前に「安全上のご注意」(2ページ)をお読みください。

付属品を確認してください

以下の付属品がすべて揃っているか確認してください。万一、付属されていない場合は、お求めの販売店、または当社(46ページ)にご相談ください。

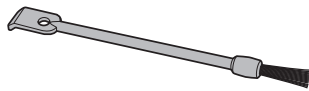


計量スプーン

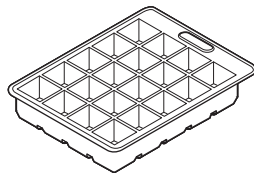


水硬度チェッカー

初めてお使いになるときに使用します。「水硬度の確認」(13ページ)をご覧ください。



クリーニングブラシ



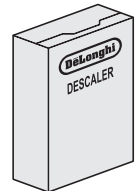
アイストレー(製氷皿)

画面に表示される「デロンギの氷」はこの製氷皿で作った氷です。



ウォーターフィルター

マシン内部への石灰分の付着を軽減します。「ウォーターフィルターの取り付けかた」(29ページ)をご覧ください。

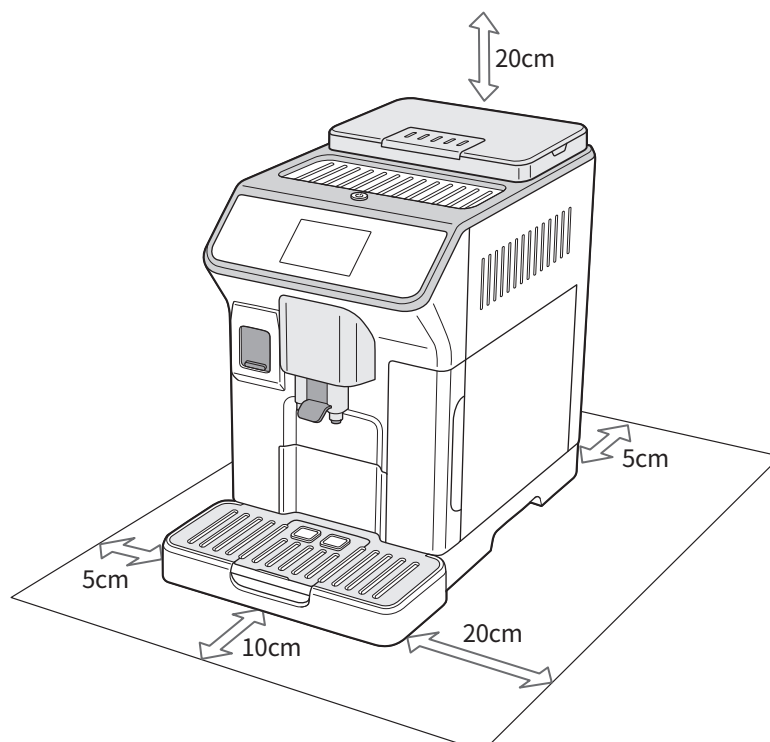


コーヒーマシン用除石灰剤

水に含まれる石灰成分を除去するために使用します。「石灰を除去する」(38ページ)をご覧ください。

設置スペースを確認してください

本製品は、左側と背面側を5cm以上、右側と上部を20cm以上空けて設置してください。室温が0°C以下になる場所には設置しないでください。製品内に残る水分の凍結により、故障の原因となることがあります。



各部のなまえとはたらき

ご使用前に保護フィルムなどを取り除いてください。

本製品は、水とコーヒー豆を使った抽出試験を工場で行って出荷されているため、本体内部に水滴跡やコーヒーのカスが付着していることがあります。汚れが気になる場合は、ご使用前に「お手入れ」(32 ページ) をご覧になり、汚れた部分を洗ってください。

はじめに「確認」してください

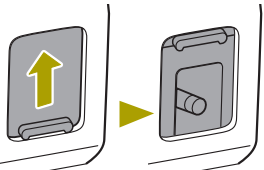
各部のなまえとはたらき

本体正面

スチーム管

ミルクコンテナや給湯ノズルを取り付けます。

取り付ける前にスチーム管カバーを上げます。

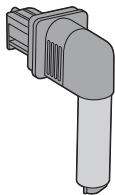


ミルクコンテナ

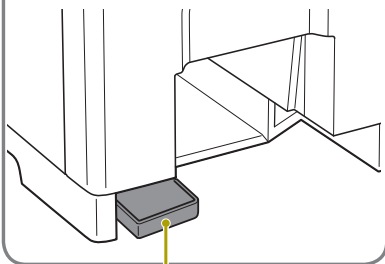
ミルクを使うときにセットします。(11 ページ)

給湯ノズル

お湯を出すときに取り付けます。



トレイを取り外した状態



水滴受け

トレイを取り外しているときに水滴を受けます。手前に引くと取り外せます。

コーヒー粉受け

グラインダーの粉排出口に付着したコーヒー粉を受けます。

電源ボタン

(14 ページ)

コントロールパネル

コーヒーの抽出操作や設定を行います。(11 ページ)

抽出口取っ手

カップに合わせて抽出口を上下させるときにつかみます。

抽出口

トレイ

内部洗浄で排出される水などがたまりやすくなります。手前に引き出すと、外せます。

カス受け

抽出後のカスを受けます。上に持ち上げると外せます。

カップ受け

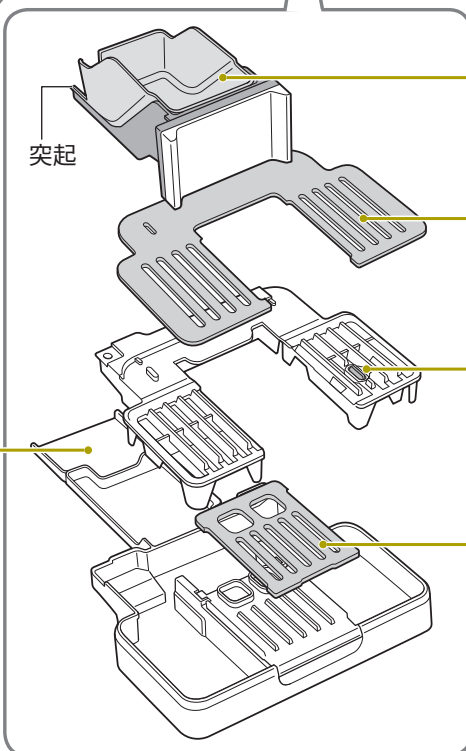
カス受けを取り外した状態で上に持ち上げると外せます。

水位計

カップ受けの穴から先端が出てきたら、トレイの水を捨ててください。

フラップ

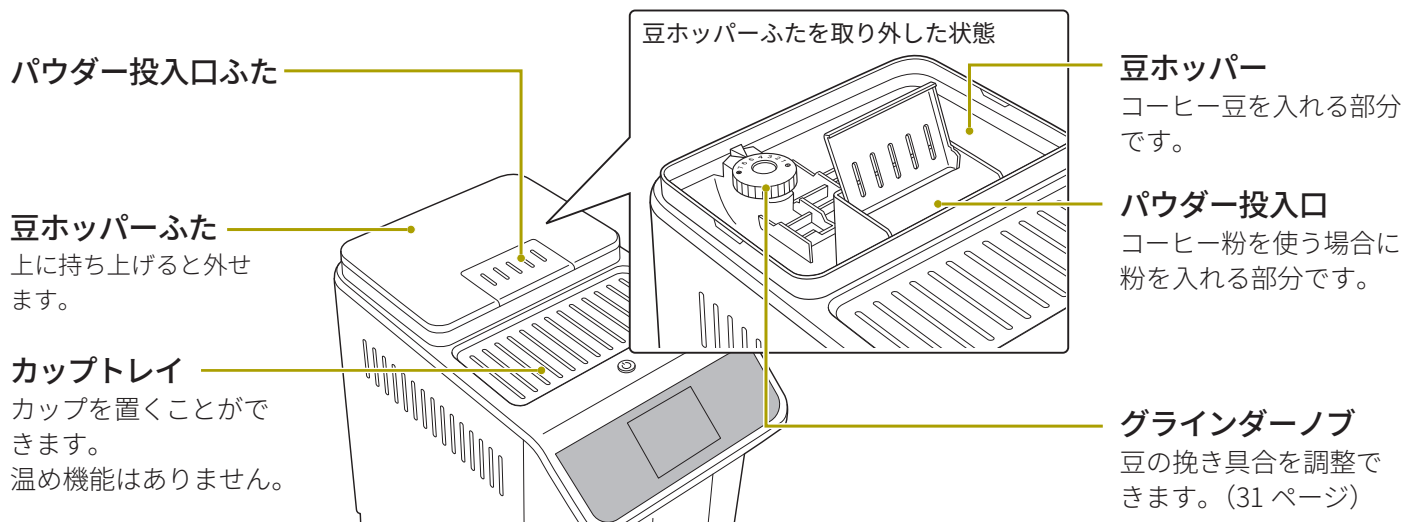
高さのある容器を使うときに上に開きます。カス受けを取り外した状態で、直角より奥に倒すと外せます。



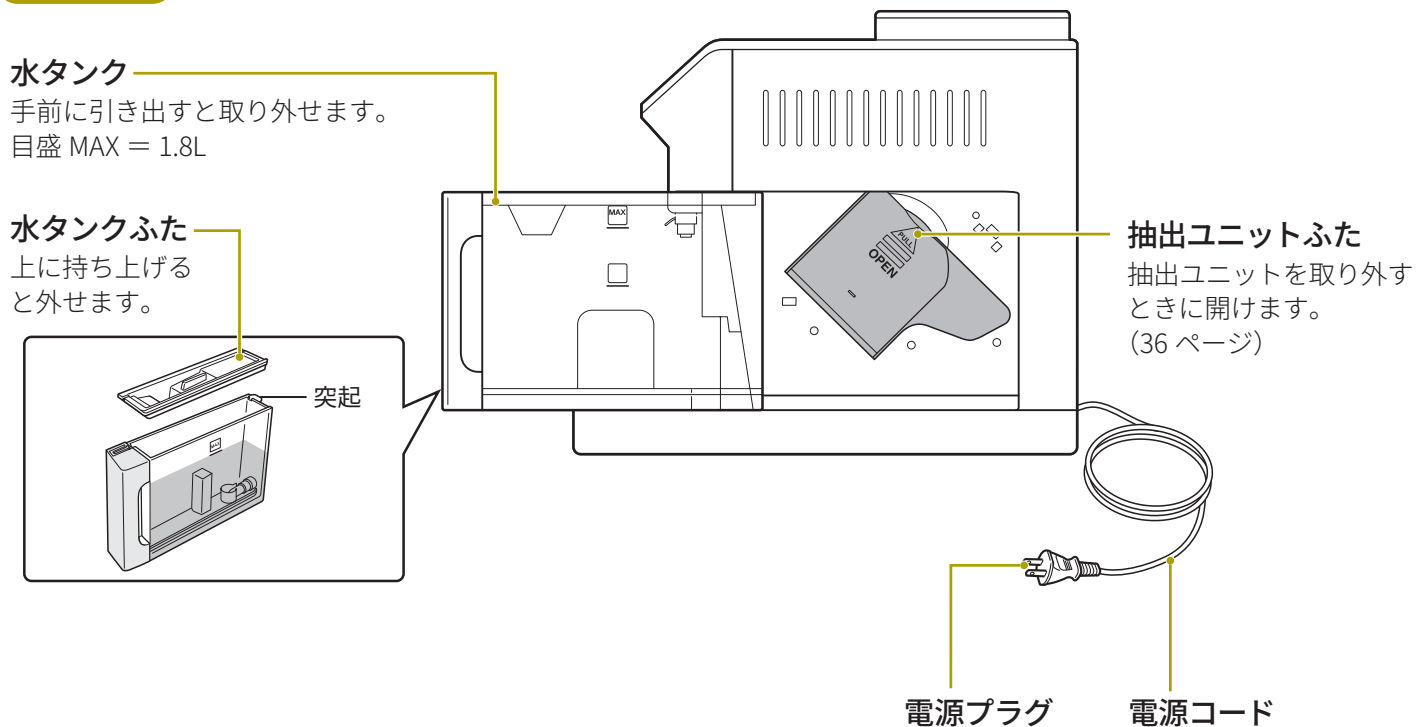
突起

各部のなまえとはたらき (つづき)

本体天面

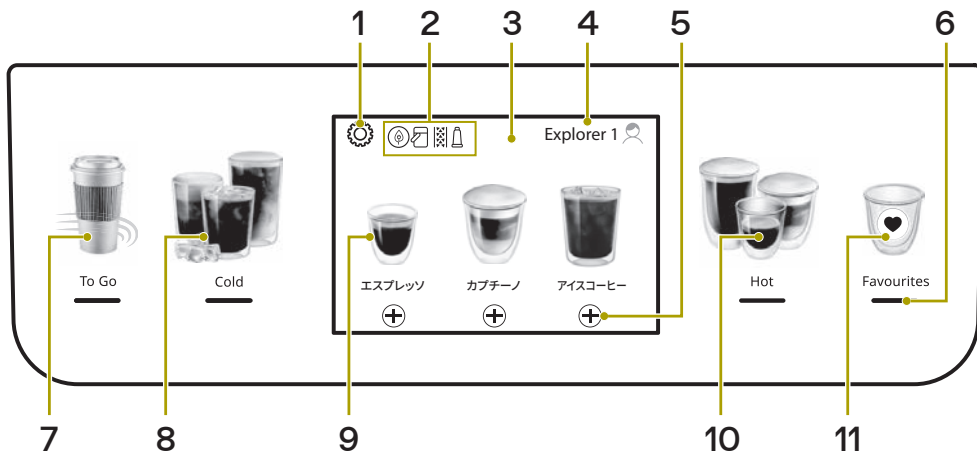


本体側面



コントロールパネル

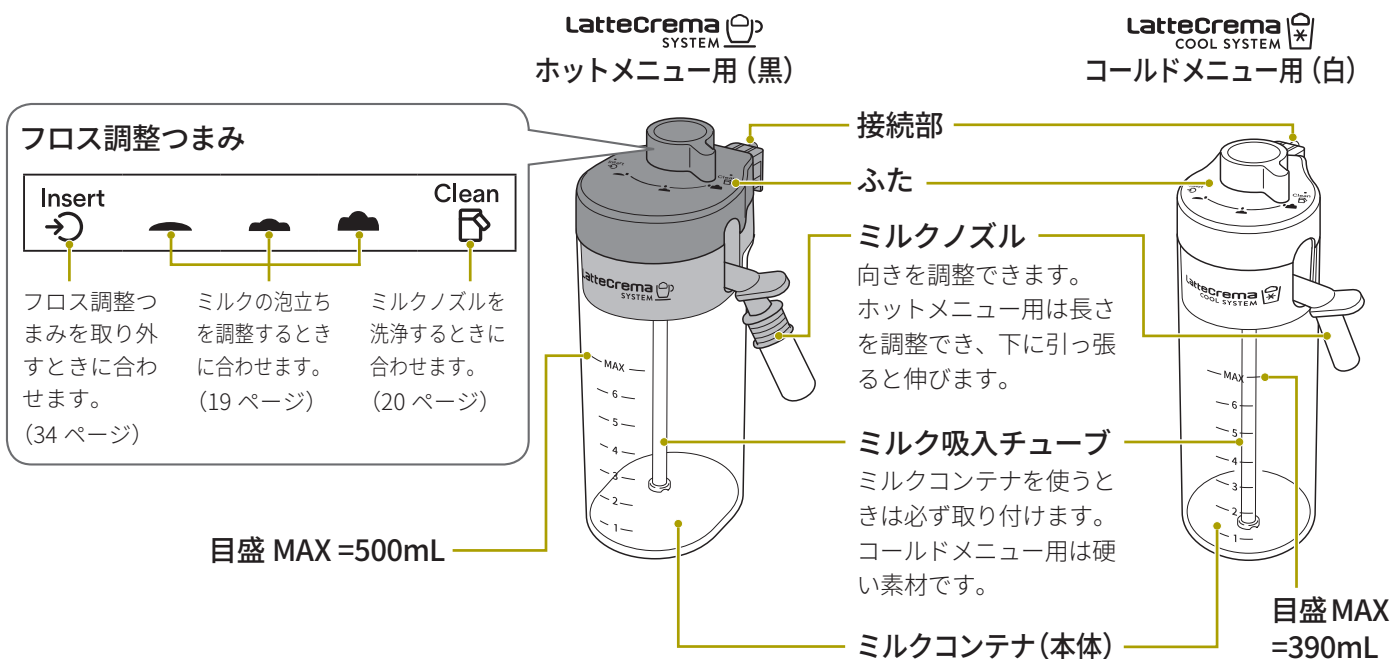
- ※ タッチセンサー式です。
- ※ コントロールパネルまたはホーム画面（液晶ディスプレイ）をタップ、スワイプして操作します。
 タップ…画面を指で一回軽く叩く操作 スワイプ…画面に指が触れた状態で、左右に指をスライドさせる操作
- ※ ホーム画面に戻るには画面左上のXをタップします。



番号	名称	説明	番号	名称	説明
1	設定	設定画面を表示します。	7	テイクアウトメニュー	テイクアウトメニューをホーム画面に表示します。(21 ページ)
2	アイコン	表示一覧 (40 ページ) をご覧ください。	8	コールドメニュー	コールドメニューをホーム画面に表示します。(17 ページ)
3	ホーム画面 (液晶ディスプレイ)	本体の設定や状態を表示します。	9	ドリンクメニュー	ドリンクを抽出します。
4	プロフィール	使用中のプロフィールを表示します。 プロフィールの追加、編集、切り替えをします。	10	ホットメニュー	ホットメニューをホーム画面に表示します。(17 ページ)
5	+	カスタマイズ画面を表示します。 (17 ページ)	11	お気に入り	登録されたお気に入りメニューをホーム画面に表示します。(24 ページ)
6	ランプ	選択中に点灯します。			

ミルクコンテナ

カプチーノなどのミルクメニューを作るときにスチーム管に取り付けます。



初めてお使いになる前に必ずすること

初めてお使いになるときは、必ず「空気抜き」を行ってください。画面の指示に従って設定します。

空気抜き

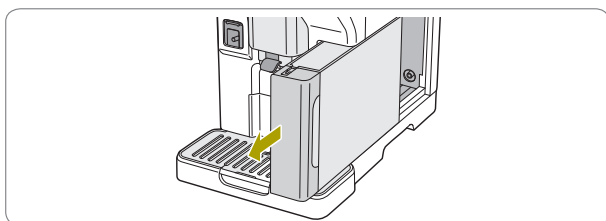
1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 言語の設定をする

英語と日本語からご希望の言語を選択し「完了」をタップしてください。

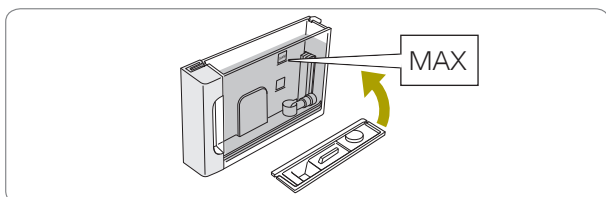
3 水タンクを手前に引いて取り外す

水タンクは取り扱いに注意してください。破損すると、水漏れや動作不良の原因になります。



4 水タンクに水を入れる

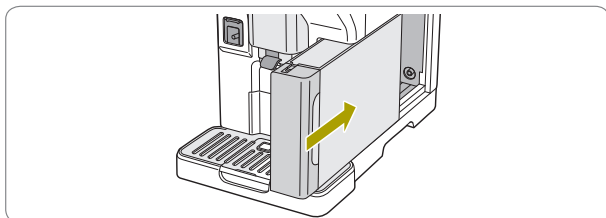
「MAX」の目盛りまで水を入れ、ふたをします。



ふたの前後の向きが逆の場合、水タンクが正しく取り付けられません。

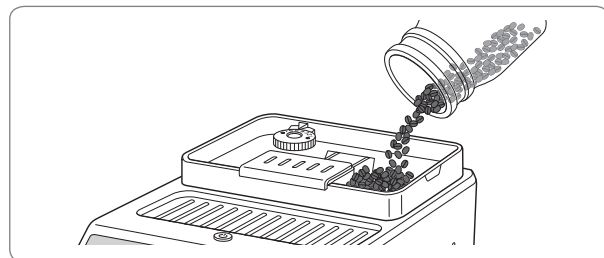
5 水タンクを本体に取り付け「Next」をタップする

しっかり奥まで差し込んでください。



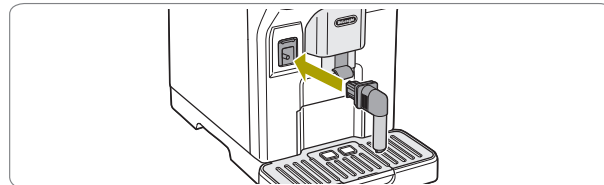
6 豆ホッパーふたを取り外し、豆ホッパーにコーヒー豆を入れ「Next」をタップする

目安量より多めに入れてください。

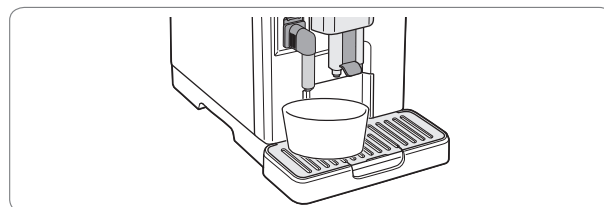


7 給湯ノズルを本体に取り付ける

カチッというまでしっかり奥まで差し込んでください。



8 給湯ノズルと抽出口の下に、容量200mL以上の容器を置く



9 「Ok」をタップして空気抜きを開始する

給湯ノズルと抽出口からお湯が出ます。

空気抜きを開始して水が出ている間は、大きな音がしますが、故障ではありません。空気が抜けると音は小さくなります。

お湯が止まると空気抜きが完了します。

10 スタート画面が表示されたら「開始」をタップする

知っておいていただきたいこと

普段の使用時に、大きな音が出てコーヒーやお湯が出ない場合は、本体の水経路に空気が入っている可能性があります。その場合は、空気を抜くためにホーム画面の「給湯」をタップし、給湯を行ってください。(23 ページ)

プロフィールの設定

1 何人がマシンを使うか選択し「Next」をタップする

2 ①を押して編集する (25 ページ)

編集が完了したら使い方の説明が表示されるまで「Next」をタップしてください。

あとで設定する場合も「Next」をタップしてください。

3 使い方の説明が表示され、ホーム画面が表示される



「Next」をタップすると準備が完了します。

「開始」をタップするとホーム画面を表示します。

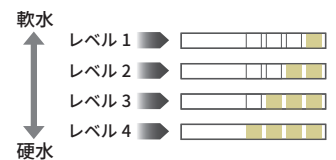
水硬度の確認

お使いになる水硬度レベルが高い(硬水)場合、水の石灰分が内部管などに付着しやすくなります。本製品は、石灰分の除去が必要な時期になると、アイコンの表示でお知らせします。(41 ページ) 水硬度レベルによってお知らせする頻度が変わりますので、あらかじめ水硬度を確認してください。お買い上げ時には、水硬度レベルは1に設定されています。

お使いになる水硬度レベルが2以上の場合、「水硬度を設定する」をご覧になり設定してください。(30 ページ)

1. 水硬度チェッカーを、コーヒーをいれるときに使う水に、約1秒間浸して取り出す
2. 軽く振って約1分待つ
3. ピンク色になった四角の数を確認する

※ 色が変わらない場合はレベル1です。



ウォーターフィルターの取り付けかた

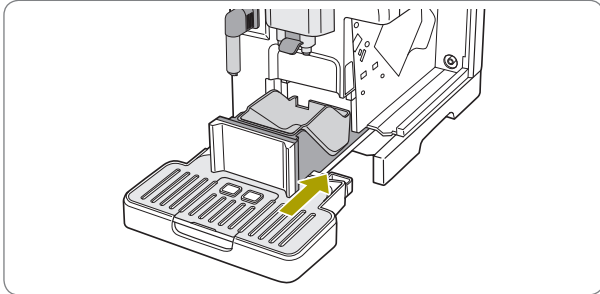
ウォーターフィルターは本体内部への石灰の付着を軽減します。ウォーターフィルターの取り付け方は29ページをご参照ください。

初めてお使いになる前に必ずすること

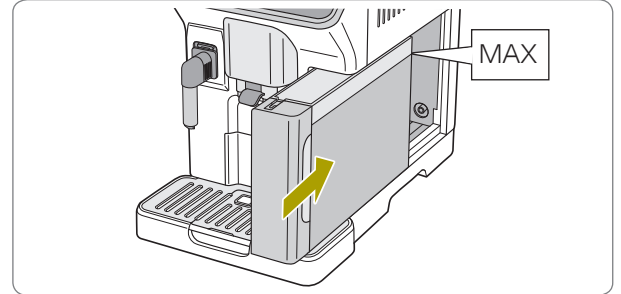
抽出前の準備をする

トレイと水タンクをセットする

- 1** トレイにカス受けをセットし、本体に取り付ける



- 2** 水タンクの「MAX」の目盛りまで水を入れ、ふたをして本体に取り付ける

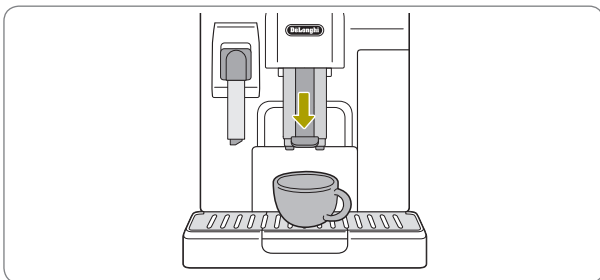


電源を入れる（自動内部洗浄）

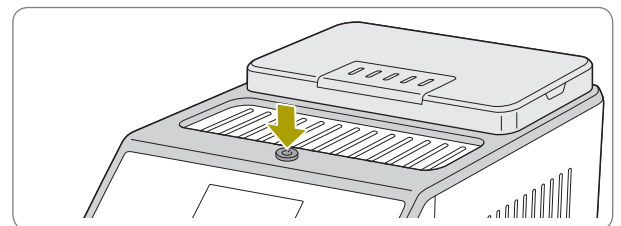
本製品は、電源を入れるたびに自動で内部を洗浄します。

電源を入れる前に、水タンクに水を入れてください。水がないと、内部洗浄が行われず電源が入りません。

- 1** カップを置き、抽出口を下げてカップに近付ける



- 2** 本体上部の電源ボタンを押す
予熱を開始します。



予熱が完了すると、抽出口からお湯が出ます。



熱湯が出るので注意する
(やけどの原因)

内部洗浄中は、本体操作はできません。

自動内部洗浄が終了するとお湯が止まります。
カップのお湯は捨ててください。

電源の切りかた(自動内部洗浄)

電源を切るときにも、毎回自動で内部を洗浄します。
ただし、電源を入れた後1杯も抽出しなかった場合は、電源を切っても内部洗浄は行われません。

1 カップを置き、抽出口を下げてカップに近付ける

2 本体上部の電源ボタンを押す

内部洗浄が始まり、抽出口からお湯が出ます。
お湯が止まり内部洗浄が終わると電源が切れます。



長時間使わない場合は電源を切り、
電源プラグを抜く

内部洗浄について

- 本体が温まっているときは、自動で内部洗浄されないことがあります。
- 内部洗浄を行うと、カス受けに水がたまるありますが、異常ではありません。
- オートオフ機能(27ページ)で電源が切れるときも、そこから電源を入れ直すときも、内部洗浄は行われます。電源を入れたままにしておくときは、カップなどをセットしておいてください。

電源の入/切時以外に内部洗浄を行うには

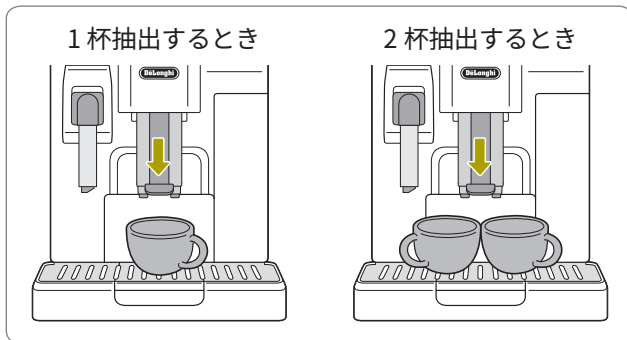
電源が入っているときは、いつでも内部洗浄を行うことができます。操作のしかたは、「手動内部洗浄を行う」(26ページ)をご覧ください。

カップをセットする

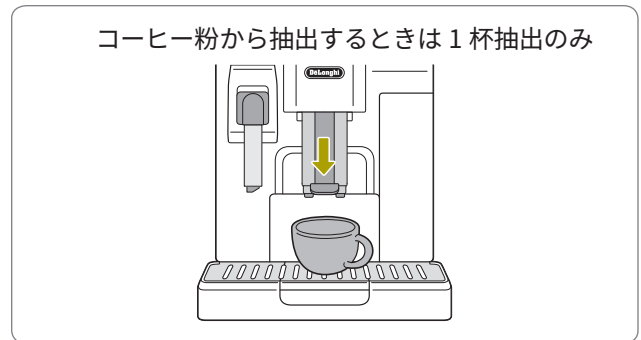
1 カップ受けにカップを置く

2 抽出口を下げてカップに近付ける

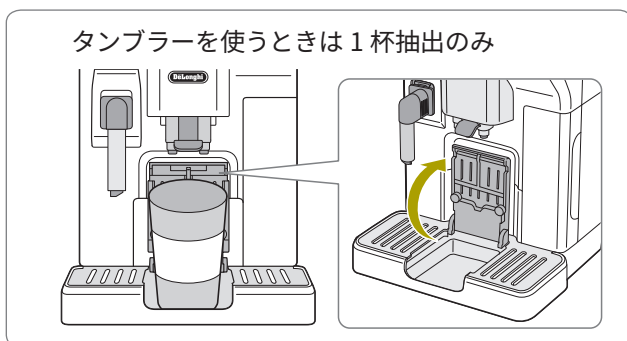
コーヒー豆を使う場合



コーヒー粉を使う場合



高さのある容器(タンブラーなど)を使う場合



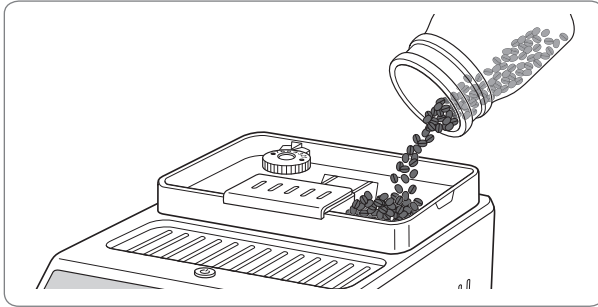
抽出前の準備をする(つづき)

コーヒー豆(またはコーヒー粉)を入れる

コーヒー豆を使う場合

- 1 豆ホッパーふたを取り外す
- 2 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる

目安量より多めに入れてください。



目安量

- エスプレッソ(1杯:約7~12g 2杯:約11~14g)*
- スペシャルティ:約8~14g
- カフェ・ジャポネ:約12~19g
- アメリカーノ:約7~12g
- ドッピオ+, カプチーノ+:約14g
- フラットホワイト:約10~14g

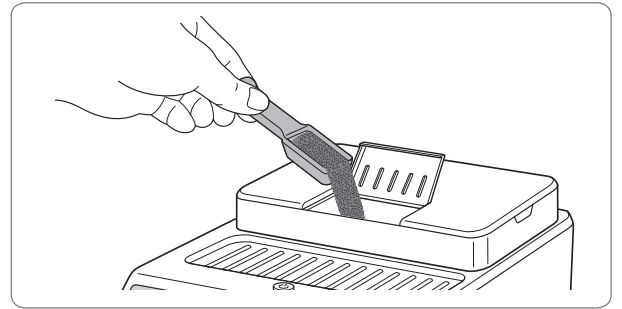
※エスプレッソを使用したミルクメニュー(カプチーノ、カプチーノ MIX、カフェラテ、ラテマキアート、エスプレッソマキアート、コルタード)も同量です。コーヒーポットには設定した杯数分の豆を入れます。

数値は目安です。お使いになるコーヒー豆の状態や挽き具合の設定によって、挽かれる豆の量は変わります。

- 3 豆ホッパーふたを取り付ける

コーヒー粉を使う場合

- 1 パウダー投入口ふたを開ける
- 2 パウダー投入口にコーヒー粉を入れる



目安量

計量スプーンすり切り~山盛り1杯
(約7~12g)

山盛り1杯を超える量はいれないでください。

コーヒー粉では2杯抽出はできません。

エスプレッソ×2、ドッピオ+, コーヒーポット、カプチーノ+は抽出できません。



- コーヒー豆を入れない(故障の原因)
- 電源が切れているときはコーヒー粉を入れない(粉が内部で飛び散ります)

- 3 パウダー投入口ふたを閉じる

コーヒーを抽出する

抽出前の準備（14 ページ）を行って、予熱が完了した状態で始めてください。

コーヒー豆から抽出する場合

ドリンクをすぐに抽出する

ホーム画面に表示されたドリンクメニューをタップするとすぐに抽出を開始します。

例) カスタマイズせずにエスプレッソを抽出する場合

1 ホーム画面のお好みのドリンクメニューをタップする



抽出を開始し、抽出過程が表示されます。最後まで進むと自動で停止します。

ホーム画面をスワイプしてお好みのメニューを表示してください。



コントロールパネルの左右のアイコンをタップするとテイクアウト、コールド、ホット、お気に入りメニューをホーム画面に表示します。

例) コールドメニューの場合

1 お好みのコールドメニューをタップする

2 氷の量を選択し、「Next」をタップする

3 氷をカップに入れ、「抽出」をタップする

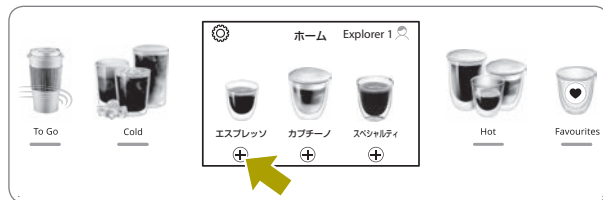
抽出を開始し、抽出過程が表示されます。最後まで進むと自動で停止します。

ドリンクをカスタマイズして抽出する

⊕をタップしてドリンクをカスタマイズできます。

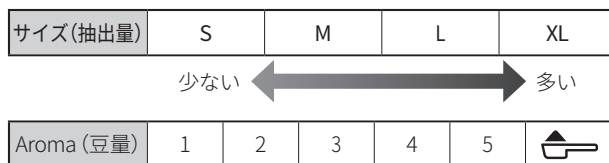
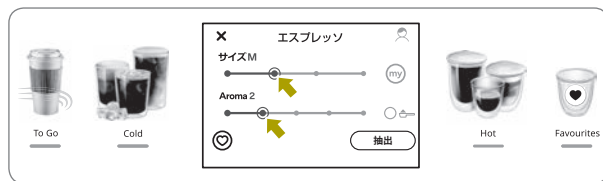
例) カスタマイズしてエスプレッソを抽出する場合

1 ホーム画面のお好みのドリンクメニューの下の⊕をタップする



カスタマイズ画面が表示されます。

2 サイズ(抽出量)や濃さをタップして設定する



コーヒー豆から抽出するときは☞の設定はできません。

コールドメニューでは豆量をタップします。

選択したメニューによってカスタマイズできる内容が異なります。

コールドメニューの場合は「開始」をタップ、氷の量を選択、「Next」をタップし、氷をカップに入れます。

3 「抽出」をタップする

抽出を開始し、抽出過程が表示されます。最後まで進むと自動で停止します。

設定を保存する場合は「保存」、保存しない場合は「キャンセル」をタップします。

- 2杯抽出の場合、左右のカップに入るコーヒーの量に多少の差が生じることがあります。差が大きい場合は、抽出口の高さを変更して差が軽減されるか試してください。改善されないときは「故障かな?」(42 ページ)を参照してください。

コーヒーを抽出する(つづき)

コーヒー粉から抽出する場合

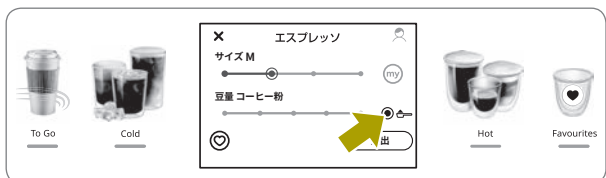
抽出前の準備(14ページ)を行って、予熱が完了した状態で始めてください。

1 ホーム画面のお好みのドリンクメニューの下の⊕をタップする



カスタマイズ画面が表示されます。

2 左側の横の○をタップする



コーヒー粉から抽出する場合は、コーヒーの濃さは変えられません。

サイズ(抽出量)を変更したい場合はタップして設定します。

3 「抽出」をタップする

4 コーヒー粉をパウダー投入口に入れたら「Ok」をタップする

抽出を開始し、抽出過程が表示されます。最後まで進むと自動で停止します。

カフェ・ジャポネを抽出する

給湯・蒸らしをくり返す間欠抽出を2回行うため、抽出の途中でコーヒー粉を補充する必要があります。

1 抽出の途中で追加のコーヒー粉を入れる指示が画面に表示されたら、コーヒー粉を追加する

山盛り1杯を超える量はいれないでください。

2 「Ok」をタップする

抽出を再開し、抽出過程が表示されます。最後まで進むと自動で停止します。

抽出が終わったら

電源を切る場合は、「電源の切りかた(自動内部洗浄)」(15ページ)の手順で、電源を切ってください。なお、電源を入れたままにしている場合、オートオフ機能(27ページ)によって、設定された時間がくると電源が切れます。

ヒント

抽出を途中で止めたいときは

抽出中に「Stop」または「キャンセル」をタップします。

抽出量を増やしたいときは

抽出終了後(ポンプの動作音が止まった後)すぐに「Extra」をタップします。お好みの量に達したら「Stop」または「キャンセル」をタップすると抽出が止まります。

より熱いコーヒーをいれるには

エスプレッソの温度は67～70℃前後が理想的ですが、より熱くしたいときは次のことをお試しください。

- 抽出温度を高くする(26ページ)
- 給湯をしてカップを温める(23ページ)
- 手動内部洗浄を行い、本体内部を温める(26ページ)

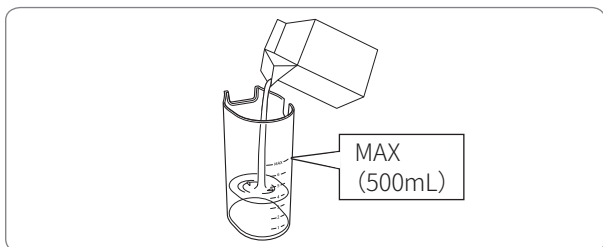
ミルクメニューを抽出する

抽出前の準備（14 ページ）を行って、予熱が完了した状態で始めてください。

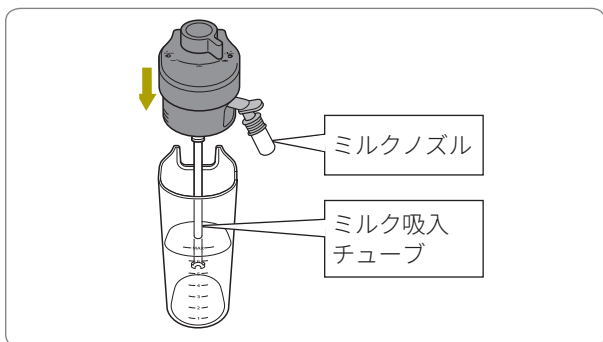
※ イラストはホットメニュー用（黒）のミルクコンテナで説明しています。コールドメニューのときはコールドメニュー用（白）をご使用ください。

1 必要な分量のミルクをミルクコンテナに入れる

1 杯あたり 30 ～ 150mL 程度のミルクが必要です。多めに入れてください。（44 ページ）

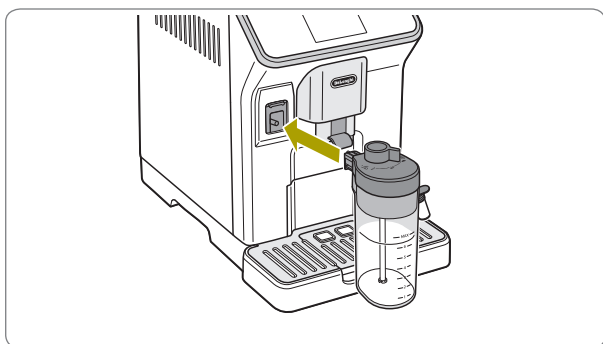


2 ふたにミルク吸入チューブが差し込まれているのを確認し、ふたをする



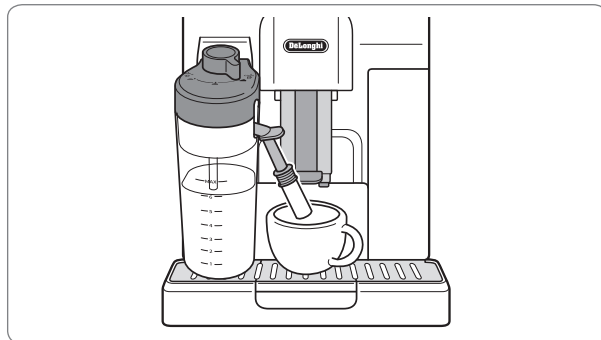
ミルクコンテナのノズルがコンテナの外に出るようにしてください。

3 ミルクコンテナをスチーム管にしっかり差し込む



フロス調整つまみを取り外した状態でミルクコンテナを本体にセットしない（やけどの原因）

4 カップを置き、ミルクノズルと抽出口をカップに近づける



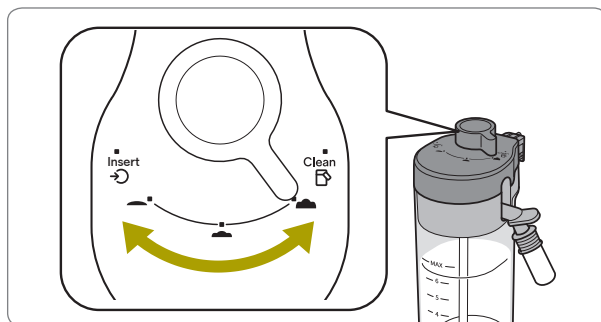
5 お好みのミルクメニューをタップする

ホーム画面をスワイプしてお好みのメニューを表示してください。

ヒントが表示されたら「Ok」をタップしてください。サイズ（抽出量）やコーヒーのタイプ、氷の量を画面の表示に従って設定します。

6 画面の指示に従って、ミルクコンテナのふたにある「フロス調整つまみ」の位置を調整する

抽出を開始し、抽出過程が表示されます。最後まで進むと自動で停止します。



←	→
泡が小さい (ミルク温度 が低い)	泡が大きい (ミルク温度 が高い)
スチーム ミルク	フロスミルク

● 抽出を途中で止めたいとき、抽出量を増やしたいときは 18 ページを参照してください。

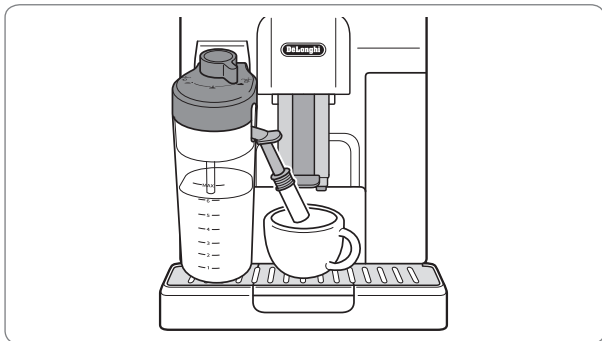
ミルクメニューを抽出する (つづき)

ミルクノズルを洗浄する

ミルクを泡立てたときは毎回行ってください。

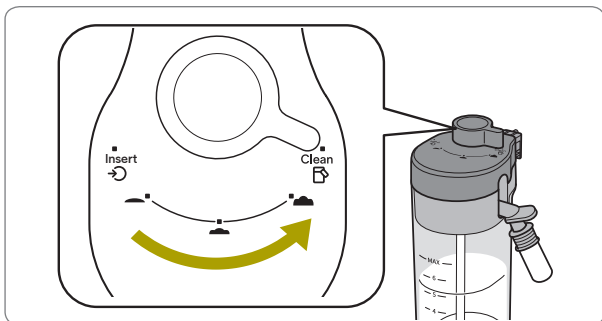
ミルクメニューを抽出後、画面の指示に従ってお手入れします。

- 1** ミルクコンテナを取り付けたまま、ミルクノズルの下に空の容器を置く



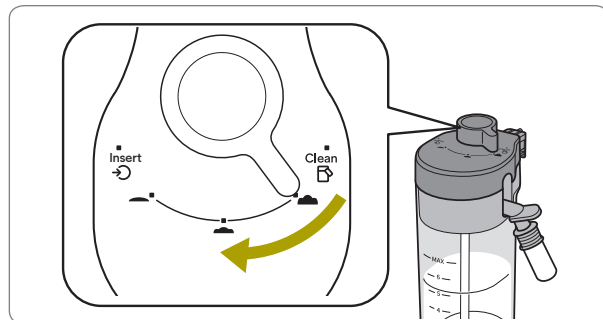
- 2** フロス調整つまみを「Clean」に合わせて、洗浄を開始する

熱湯が出てミルクノズルを洗浄します。



洗浄が終わると自動で停止します。

- 3** フロス調整つまみを「Clean」の位置から「Insert」に戻す



衛生を保つため、次のことにお守りください。

- 一日の終わりには、ミルクコンテナに残ったミルクは必ず廃棄し、十分に洗浄してください。(34 ページ)



- すぐに廃棄しないときは、一時的にミルクコンテナを冷蔵庫に入れるなど、衛生面にご注意ください。
- 必ずミルクノズルもお手入れしてください。(34 ページ) スチーム管に付いたミルクが乾いてかたまってしまうと、故障の原因となります。

以下の場合にトレイから蒸気が出たり、トレイにお湯が少量たまりますが、異常ではありません。

- ミルクを泡立てた後
- フロス調整つまみを「Clean」に合わせてミルクノズルを洗浄した後

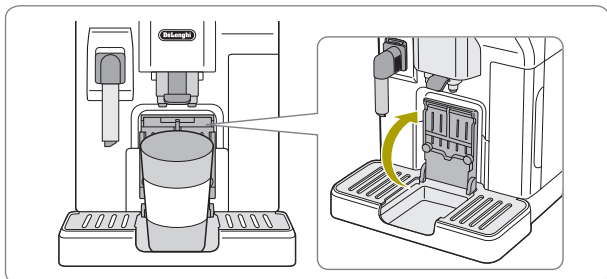
ミルクを泡立てた直後や、ミルクノズルを洗浄した直後に、トレイを引き出さない (お湯が漏れる原因)

テイクアウトメニューを抽出する

抽出前の準備（14 ページ）を行って、予熱が完了した状態で始めてください。
テイクアウト用のタンブラーサイズに合わせてドリンクを抽出します。

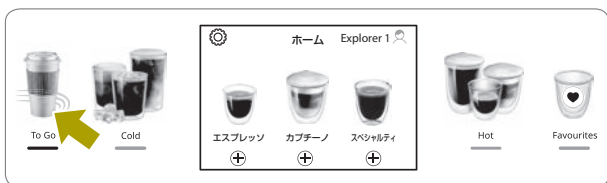
初めてテイクアウトメニューを抽出する

1 トレイのフラップを上げ、容器を置く



高さ 16cm 以内のタンブラーを使用してください。

2 コントロールパネルの [To Go] をタップする



3 画面の指示に従って「開始」をタップする

4 使用するタンブラーサイズを選択し「Next」をタップする

目安量

- 小 [P] が 235mL
- 大 [G] が 473mL

抽出後にサイズ調整ができると表示されるので「Next」をタップしてください。

5 コントロールパネルの [Cold] または [Hot]、画面の「<<」(コールド)「>>」(ホット)をタップする

6 ホーム画面のお好みのドリンクメニューをタップする

ホーム画面をスワイプしてお好みのメニューを表示してください。
コーヒーのタイプ（豆、粉）、氷の量を画面の表示に従って設定します。

7 「抽出」をタップする

抽出を開始し、抽出過程が表示されます。最後まで進むと自動で停止します。
抽出後に「お好みの量ですか？」と表示されたら必要に応じて設定してください。○が現在の抽出量です。「Ok」または「調整」をタップします。
使用中のプロフィールに設定が保存されます。

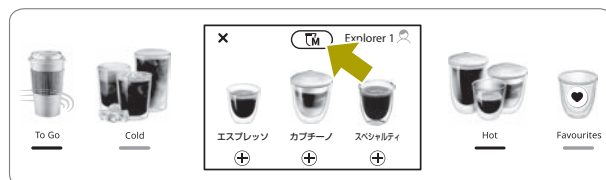
テイクアウトメニューを抽出する

1 トレイのフラップを上げ、容器を置く

2 コントロールパネルの [To Go] をタップする

3 コントロールパネルの [Cold] または [Hot]、画面の「<<」(コールド)「>>」(ホット)をタップする

4 設定したサイズから変更する場合は、ホーム画面の小 [P] 中 [M] 大 [G] をタップして設定する



5 ホーム画面のお好みのメニューをタップ

ホーム画面をスワイプしてお好みのメニューを表示してください。

コーヒーのタイプ（豆、粉）、氷の量を画面の表示に従って設定します。

6 「抽出」をタップする

抽出を開始し、抽出過程が表示されます。最後まで進むと自動で停止します。
使用中のプロフィールに設定が保存されます。

- メニューやサイズ（抽出量）によって 2 回以上抽出を行う場合があります。
- 抽出を途中で止めたいときは 18 ページを参照してください。
- 設定したタンブラーと違うものを使用するときは量を確認しながら抽出してください。
- テイクアウトメニューは 2 時間以内にお飲みください。
- ミルクメニューを抽出した後は必ずミルクノズルの洗浄を行ってください。

ミルクメニューを抽出する（つづき）

テイクアウトメニューを抽出する

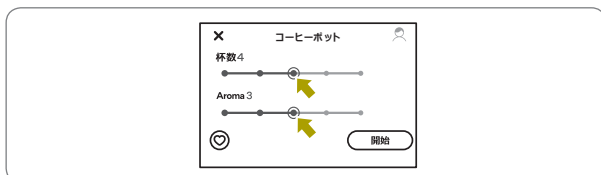
コーヒーポットを使う

抽出前の準備（14 ページ）を行って、予熱が完了した状態で始めてください。

2杯から6杯をコーヒーポットに抽出します。

1 ホーム画面をスワイプして  をタップする

2 杯数と濃さをタップして設定する



杯数	豆を挽く回数	抽出量 (約)
2	2	250mL
3	3	375mL
4	4	500mL
5	5	625mL
6	6	750mL

3 「開始」をタップする

4 画面の指示に従って水タンクと豆をセットし「Next」をタップする

5 抽出口の下にコーヒーポットを置き、「抽出」をタップする

抽出を開始し、抽出過程が表示されます。

設定した杯数に応じ、必要な回数抽出を行います。

抽出が終わると自動で停止します。

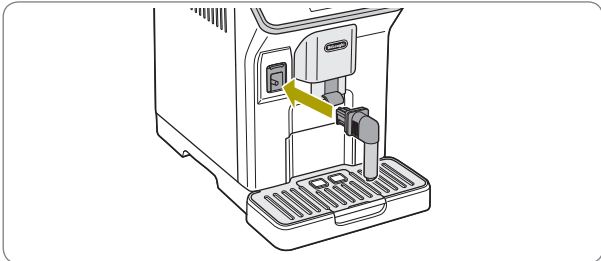
設定を保存する場合は「保存」、保存しない場合は「キャンセル」をタップします。

- コーヒーポットは使用するたびに、ぬるま湯と食器用洗剤でよく洗ってください。
- コーヒーポットに抽出した後、続けて別のメニューを抽出するときは5分以上休ませてください。

紅茶／お茶をいれる

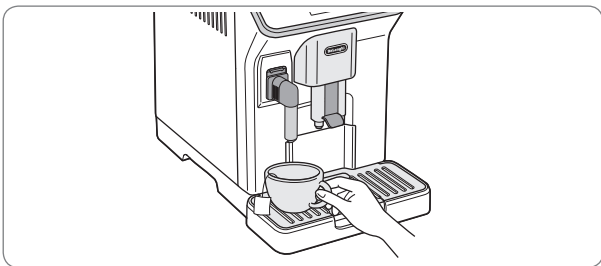
抽出前の準備（14 ページ）を行って、予熱が完了した状態で始めてください。
給湯ノズルを使って適温で紅茶やお茶が楽しめます。

1 給湯ノズルを取り付ける

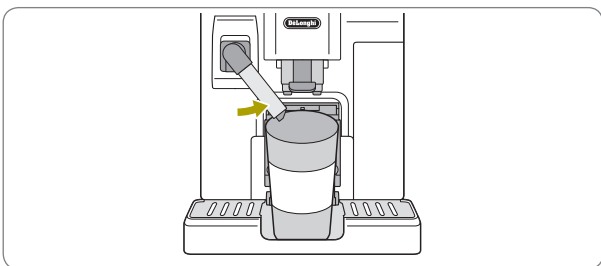


給湯ノズルは奥までしっかり差し込んでください。

2 カップにティーバッグを入れ、給湯ノズルの下に置く



高さのある容器（タンブラーなど）を使用するときは、トレイのフラップを上げて容器を置き、給湯ノズルを内側に回転させてください。



- 抽出を途中で止めたいとき、抽出量を増やしたいときは 18 ページを参照してください。
- 節電モードが設定されている場合、お湯が出るまで数秒かかることがあります。

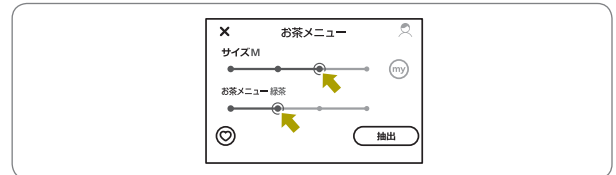
給湯機能

カップの湯煎など、お湯の温度を設定せずに給湯する場合

1 給湯ノズルの下にカップを置く

3 ホーム画面をスワイプして をタップする

4 サイズ（抽出量）、メニューをタップして設定する



メニュー名	お湯の温度（約）
白茶	75°C
緑茶	80°C
烏龍茶	85°C
紅茶	90°C

温度は目安です。使用環境により異なる場合があります。

5 「抽出」をタップする

抽出過程が表示され、適温のお湯が出ます。最後まで進むと自動で停止します。

設定を保存する場合は「保存」、保存しない場合は「キャンセル」をタップします。

ドリンクをカスタマイズ (定量設定) する

お気に入り登録

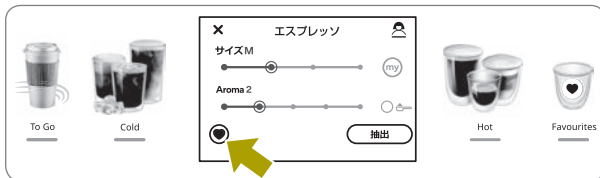
プロフィールごとにお気に入りのメニューリストを作成できます。

お気に入りに登録する

1 お気に入りに保存したいドリンクメニューの下の⊕をタップする



2 ♡をタップする

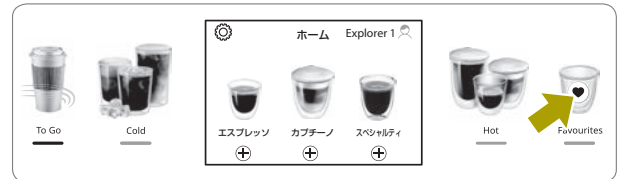


お気に入りに登録されました。
プロフィールごとに 12 個まで登録できます。

お気に入りメニューリストを編集する

お気に入りに 2 個以上登録した場合は、表示順を変更できます。

1 コントロールパネルの🗑️をタップする



2 🗑️をタップする

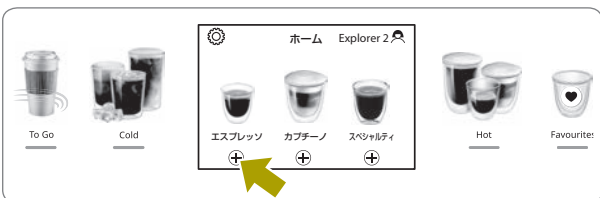
3 移動するメニューをタップする

4 ⬅️または➡️をタップして表示順序を変更する

マイメニュー登録

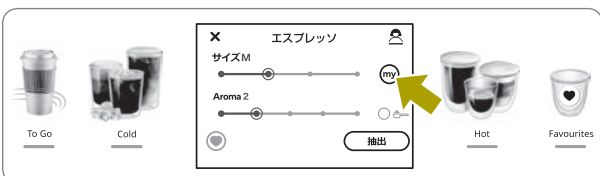
プロフィールごとに、コーヒーの豆量、コーヒーやミルクの抽出量をカスタマイズできます。
(ホットメニューのみ)

1 カスタマイズしたいドリンクメニューの下の⊕をタップする



カスタマイズ画面が表示されます。

2 my をタップする



3 「開始」をタップする

4 濃さ (豆量) を設定し「Next」をタップする

5 「抽出」をタップする

抽出を開始し、抽出過程が表示されます。
お好みの抽出量になったら「Stop」をタップしてください。

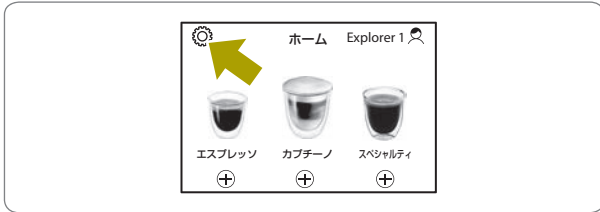
設定を保存する場合は「保存」、保存しない場合は「キャンセル」をタップします。

プロフィールの作成、編集、選択

プロフィールの作成、編集

プロフィールの新規作成、アイコンや色の編集ができます。

- 1 ホーム画面の⚙️をタップし、設定画面を表示する



- 2 画面に「プロフィール作成、編集」が表示されるまでスワイプする

- 3 「Next」をタップする

- 4 新しいプロフィールを作成するには「新規作成」を、既存のプロフィールを編集するには「編集」をタップする



プロフィールは4人まで作成できます。4人分作成した場合は「新規作成」は表示されません。

- 5 お好みでアイコンと表示色を「編集」をタップし設定し、「保存」をタップする

プロフィールを削除する場合は「削除」をタップしてください。

プロフィール選択

カスタマイズ設定やお気に入りメニューなどは使用中のプロフィールに保存されます。

- 1 ホーム画面のプロフィールアイコンをタップする



- 2 使用するプロフィールの○をタップする




- 現在の設定は●と表示されます。
- ⊕やカスタマイズ画面の表示は、プロフィールの色と同じ色で表示します。
- 編集をタップするとアイコンと色が編集できます。
- 新規作成をタップするとプロフィールを作成できます。

便利な機能、その他の機能






手動内部洗浄を行う（内部洗浄）

内部洗浄を行うと本体内部が温まるので、より熱いコーヒーをいれるのに効果的です。

- 1 給湯ノズルと抽出口の下に、容量200mL以上の容器を置く
- 2 ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する
- 3 画面に「内部洗浄」が表示されるまでスワイプする
- 4 「Ok」をタップし、内部洗浄を開始する
内部洗浄が始まり、抽出口と給湯ノズルからお湯が出ます。
途中で止めるときは「Stop」をタップします。
容器のお湯は捨ててください。




抽出温度を設定する

お買い上げ時は、「レベル2」に設定されています。

- 1 ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「抽出温度設定」が表示されるまでスワイプする
- 3 「設定」をタップする
抽出温度はレベル1（低温）～レベル3（高温）の3段階から選択できます。
現在の設定は  で表示されます。
- 4 お好みの温度の  をタップする
設定画面に戻るには  をタップ、ホーム画面に戻るには  をタップします。


言語を設定する

画面に表示される言語を日本語または英語に設定します。

- 1 ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「言語設定」が表示されるまでスワイプする
- 3 「Next」をタップする
現在の設定は  で表示されます。
- 4 設定したい言語の  をタップする
設定画面に戻るには  をタップ、ホーム画面に戻るには  をタップします。

水抜き

マシンを長期間使用しない場合や、修理などのために配送する場合は水抜きをおすすめします。





- 1 ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「水抜き」が表示されるまでスワイプする
- 3 「Ok」をタップする
- 4 トレイとカス受けを空にして本体に戻し「Next」をタップする
- 5 給湯ノズルと抽出口の下に、容量500mL以上の容器を置き「Next」をタップする
内部洗浄が始まり、抽出口と給湯ノズルからお湯が出ます。
- 6 水タンクを空にして本体に戻し「Next」をタップする
ウォーターフィルターを取り付けているときは、フィルターを取り外してください。
水抜きが始まり、抽出口と給湯ノズルからお湯が出ます。
- 7 トレイを空にして本体に戻し「Next」をタップする
- 8 「Ok」をタップする
「Ok」をタップすると電源が切れます。
次回使用するときは、必ず「空気抜き」(12 ページ)を行ってください。

自動で電源が切れるまでの時間を設定する (オートオフ)

何も操作しない時間が続いたときに、自動的に本体の電源が切れるまでの時間を設定します。
お買い上げ時は、「30分」に設定されています。





オートオフ機能は解除できません。

オートオフ機能で電源が切れるときも自動内部洗浄が行われ、抽出口から熱湯が出ますのでご注意ください。

- 1 ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「オートオフ」が表示されるまでスワイプする
- 3 自動で電源を切るまでの時間の  をタップする
現在の設定は  で表示されます。
「15分」「30分」「1時間」「3時間」から選択できます。
ホーム画面に戻るには  をタップします。

操作音 (ビープ) の設定





操作音の ON / OFF (入 / 切) を設定します。お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

- 1 ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「一般」が表示されるまでスワイプする
- 3 「操作音 (ビープ)」の  をタップし、ON / OFF (入 / 切) の切り替えをする
ON のときは  が緑色で表示されます。
ホーム画面に戻るには  をタップします。

便利な機能、その他の機能（つづき）





消費電力を抑える（節電モード）

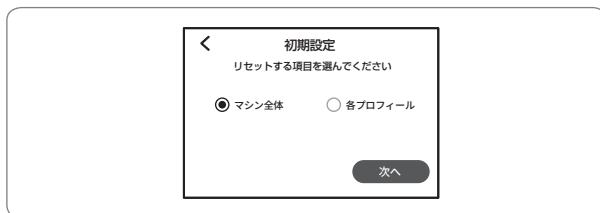
節電モードの ON / OFF（入 / 切）を設定します。お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

- 1 ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「一般」が表示されるまでスワイプする
- 3 「節電モード」の  をタップし、入 / 切（ON / OFF）の切り替えをする
節電モードを入（ON）にすると  がホーム画面に表示されます。
ホーム画面に戻るには  をタップします。
節電モード中は、待機時の消費電力を抑えるため予熱をしません。コーヒーを抽出したり、給湯をしたりすると、予熱のため抽出開始まで少し時間がかかる場合があります。その際はそのままお待ちください。

プログラムリセット（初期設定）

設定を初期設定の状態に戻します。




- 1 ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「初期設定」が表示されるまでスワイプする
- 3 「Next」をタップする
- 4 リセットする項目の  をタップする
- 5 「Next」をタップする
キャンセルする場合は  を、リセットする項目を変更する場合は「戻る」をタップしてください。
- 6 「Ok」をタップする
ホーム画面に戻るには  をタップします。
マシン全体をリセットした場合、スタート画面が表示されたら「開始」をタップし、画面の指示に従ってください。
プログラムリセットをしても、使用履歴はリセットされません。



各プロフィールをリセットする場合は、リセットしたいプロフィールを選択してください。

使用履歴の表示

ドリンクを抽出した杯数、使用水量の累計（リットル）、除石灰回数、簡易洗浄回数、フィルター交換回数を表示します。

- 1 ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「使用履歴」が表示されるまでスワイプする
- 3 画面に今までの使用履歴が表示される
次のページを表示するには「続きを読む」をタップしてください。
設定画面に戻るには  をタップ、ホーム画面に戻るには  をタップします。

ウォーターフィルターの取り付けかた

本製品はウォーターフィルターの交換が必要な時期になると画面の表示でお知らせします。(40ページ)



- 湿気の少ない冷暗所で保管し、開封後はすぐに使用する
- 石灰の除去をする前に取り外す

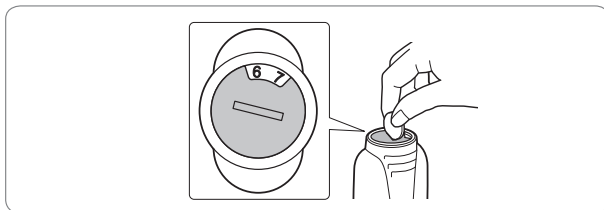
- 1** ホーム画面の  をタップし、設定画面を表示する



- 2** 画面に「ウォーターフィルター」が表示されるまでスワイプする

「Ok」をタップし、画面の指示に従ってください。

- 3** フィルター上部のカレンダーディスクを回し、数字(使用開始月)を左側に合わせ、「Next」をタップする

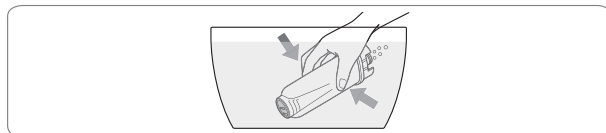


左(6月)が使用開始月で、右(7月)が次の交換月の目安です。

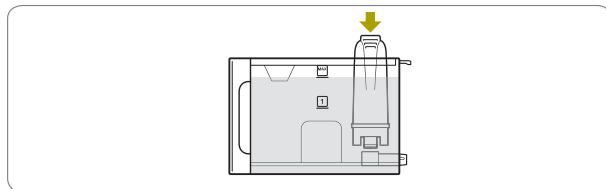
- 4** 側面の開口部から水が出るまで、フィルターの穴に1分以上水道水を流し、「Next」をタップする

- 5** 本体から水タンクを取り外し、水を入れる

- 6** 水を入れた容器にフィルターを入れ、フィルターから空気が抜けるように傾け、約10秒間完全に洗め、「Next」をタップする
水タンクの中で空気を抜くこともできます。



- 7** 水タンクのウォーターフィルター取り付け部に奥までしっかり差し込み、「Next」をタップする

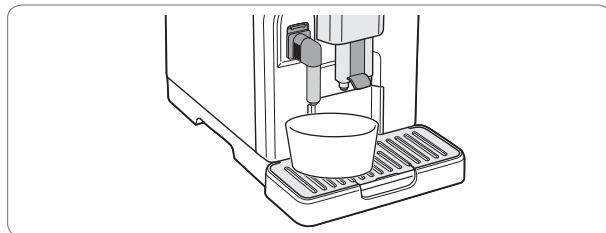


- 8** 水タンクにふたをして、本体にセットし、「Next」をタップする

- 9** 容量500mL以上の容器を給湯ノズルの下に置き、「Next」をタップする

給湯ノズルからお湯が出ます。

お湯が止まると、ウォーターフィルターの設定が完了します。「Ok」をタップしてください。



便利な機能、
その他の機能(つづき)

フィルターの交換について

以下のようなときは交換が必要です。


- 画面に「フィルターを交換してください」と表示された
すぐに交換するときは「Ok」をタップし画面の指示に従ってください。あとで交換するときは「キャンセル」をタップしてください。
- 使用開始から2か月経った(カレンダーディスク 手順 **3** 参照)
- 本製品を3週間以上使用しなかった
※ 石灰の除去を行う際には、必ずフィルターを取り外してください。

便利な機能、その他の機能（つづき）


ウォーターフィルターの設定

画面にフィルターの交換が表示されたらウォーターフィルターを交換してください。

ウォーターフィルターの交換


- 1 ホーム画面のをタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「ウォーターフィルター」が表示されるまでスワイプする
「開始」をタップし、画面の指示に従ってください。
- 3 「Ok」をタップする
- 4 コーヒーマシンから水タンクを取り外し、ウォーターフィルターを外し「Next」をタップする
画面の指示に従い 29 ページ手順 3 ~ 9 を行ってください。

ウォーターフィルターを取り外して使用する場合

- 1 ホーム画面のをタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「ウォーターフィルター」が表示されるまでスワイプする
「開始」をタップし、画面の指示に従ってください。
- 3 「Ok」をタップする
- 4 コーヒーマシンから水タンクを取り外し、ウォーターフィルターを外し「Ok」をタップする
- 5 水タンクにふたをして、本体にセットし、「閉じる」をタップする

水硬度を設定する

お買い上げ時は、「レベル 1」に設定されています。

- 1 ホーム画面のをタップし、設定画面を表示する
- 2 画面に「水硬度」が表示されるまでスワイプする
- 3 「設定」をタップする
現在の設定は●で表示されます。
レベル 1 ~ レベル 4 の 4 段階から選択できます。
- 4 水硬度チェッカーで確認したレベル (13 ページ) に合った○をタップする
設定画面に戻るにはくをタップ、ホーム画面に戻るにはXをタップします。

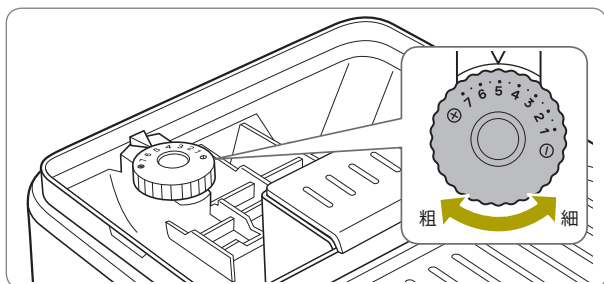
豆の挽き具合を調整する

通常はお買い上げ時の設定「5」のままお使いください。



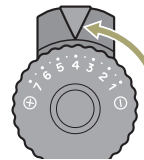
グラインダーノブは、豆が挽かれているとき（グラインダーが作動中のとき）のみ回す（故障の原因）

- 1 豆ホッパーふたを取り外す
- 2 コーヒーを抽出する
- 3 豆が挽かれている間（グラインダーが作動中）に、グラインダーノブを1目盛りだけ回す

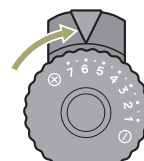


豆の挽き具合は次の場合にのみ調整してください。

コーヒーが薄い、
またはもっとクリーミーにしたい
細かい方（反時計回り）に1目盛り回す



コーヒーが抽出されない、
または抽出が極端に遅い
粗い方（時計回り）に1目盛り回す



調整した後は、コーヒーを3杯以上抽出しないと効果が得られません。3杯以上抽出して効果が得られなかった場合は、もう一度調整してください。

操作方法は画面でも確認できます。

- 1 ホーム画面の⚙️をタップし、設定画面を表示する
- 2 「グラインダー調整」が表示されるまでスワイプし「続きを読む」をタップする

専用アプリのダウンロード

専用アプリでレシピなどの閲覧ができます。

「De'Longhi COFFEE LINK」と検索し、専用アプリをダウンロードし、インストールしてください。アプリは無料です。ただし、アプリのダウンロードやサービスのご利用には、別途通信料がかかります。本製品はアプリからの操作はできません。

- 1 専用アプリをダウンロードし、インストールする



iOS の場合



Android™ の場合



■商標について

- Apple、Apple ロゴ、iPhone、iPad は米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android、Google Play、Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- その他記載されている会社名・商品名は、各社の商標、登録商標です。

- 2 アプリを起動し、画面の指示に従って使用する

お手入れ

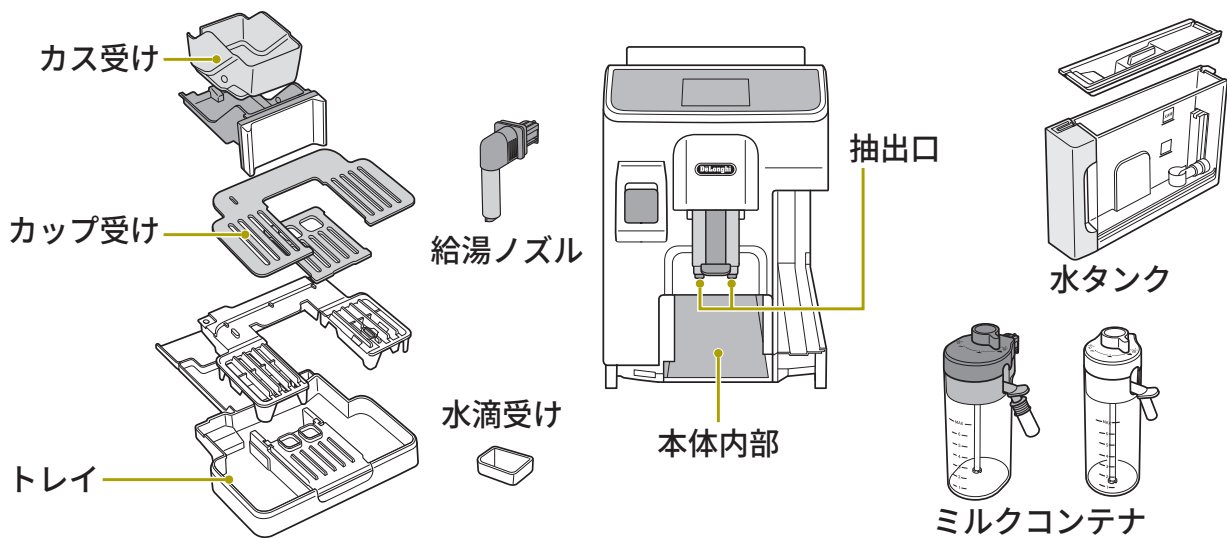
いつも清潔な状態で使用するため、こまめにお手入れすることをおすすめします。

お手入れに関するお願い

- ベンジン・シンナー・アルコール*・研磨剤・漂白剤は、使わないでください。(傷、変色の原因)
- たわし類・メラミンスポンジは、使わないでください。(傷の原因)
- 食器洗い機・食器乾燥機は使わないでください。(変形の原因)

*スチーム管周囲の清掃 (33 ページ) のキッチン用アルコール除菌スプレーを除く。

毎日のお手入れ



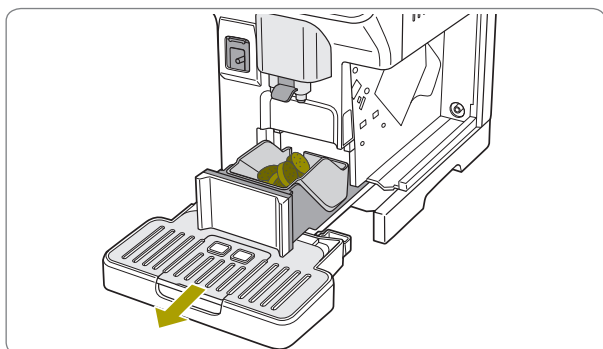
豆ホッパーに残った豆は

豆ホッパーふたには、ある程度の遮光性と密閉性があるため、残った豆はそのまま豆ホッパー内に入れておいてかまいませんが、3日以内にお使いいただくことをおすすめします。

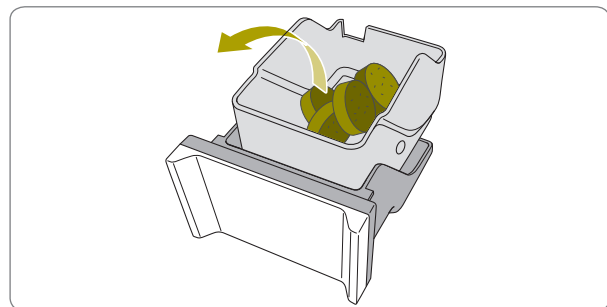
カス受けにたまったカスを捨てる

本製品では、抽出杯数を自動でカウントし、この作業でリセットする仕組みになっています。必ず電源が入っている状態で捨ててください。

1 電源を入れた状態でトレイを取り外す



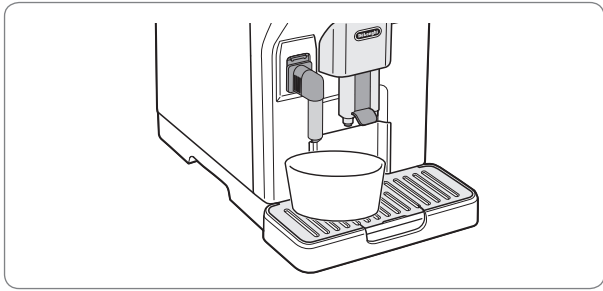
2 カス受けのカスを捨てる



3 カス受けをトレイに取り付け、トレイを本体に戻す

給湯ノズル、スチーム管の汚れを取る

1 給湯ノズルの下にカップを置く



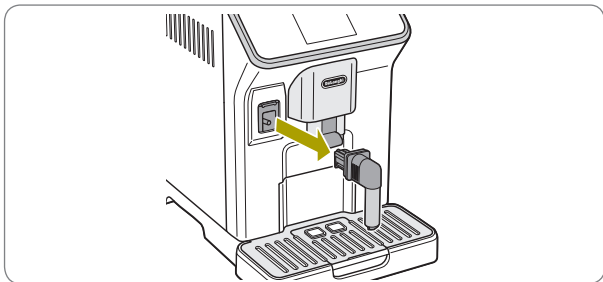
2 水をタップする

給湯ノズルからお湯が出ます。

3 少量のお湯を出し「Stop」または「キャンセル」をタップしてお湯を止める

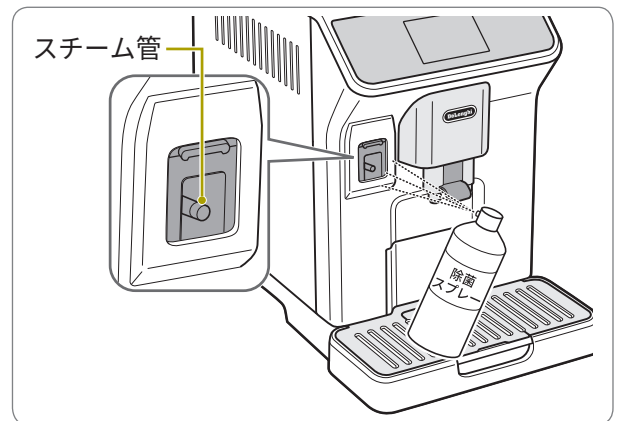
4 給湯ノズルが冷えるまで、2～3分待つ

5 給湯ノズルを手前に引いて取り外す



給湯ノズル内に少量のお湯が残るのでやけどに注意する

6 スチーム管の周囲を清掃する



キッチン用アルコール除菌スプレーでスチーム管の周囲を除菌し、先の細い柔らかいブラシで清掃し、固く絞った濡れ布巾でスチーム管を丁寧に拭いてください。

7 給湯ノズルを水洗いする

8 給湯ノズルの穴や溝が汚れている場合は、爪楊枝など先の細いもので取り除く

9 乾いたら給湯ノズルをスチーム管に取り付ける

お手入れ (つづき)

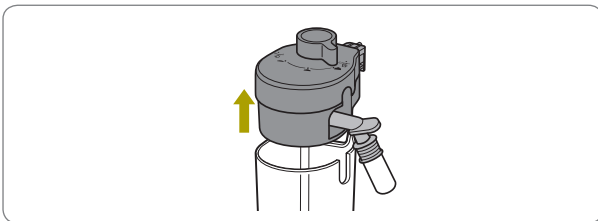
ミルクコンテナの汚れを取る

ホットメニュー用 (黒) で説明しています。コールドメニュー用 (白) も同様にお手入れしてください。

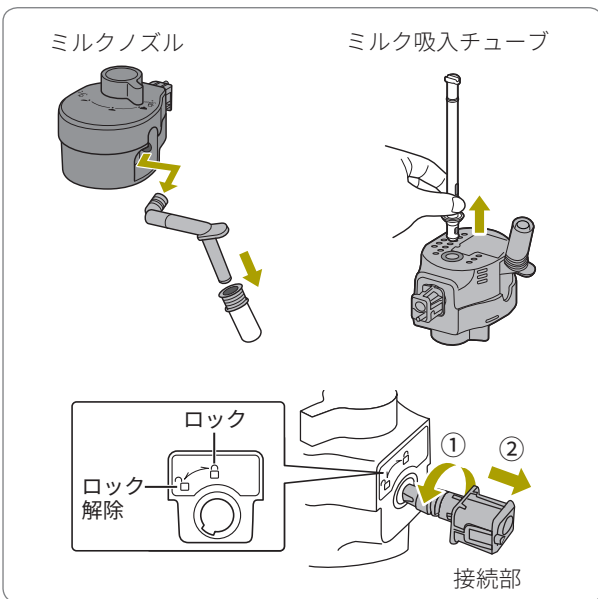
1 ミルクコンテナを手前に引いて取り外す



2 ミルクコンテナのふたを取り外す



3 ミルクコンテナのふたからミルクノズルとミルク吸入チューブ、接続部を取り外す



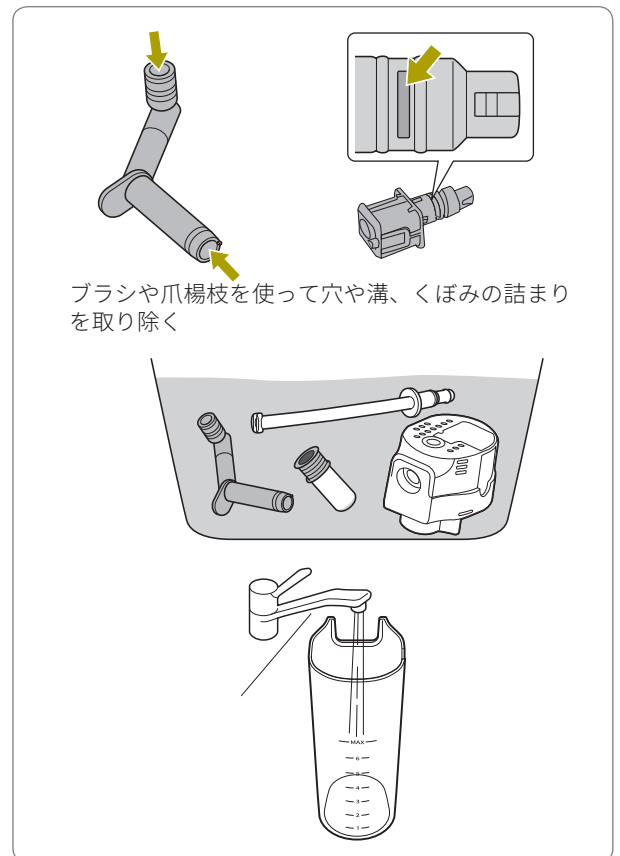
4 ミルクコンテナのふたからフロス調整つまみを取り外す



5 ぬるま湯と食器用洗剤でよく洗う

食器用洗剤を溶かしたぬるま湯に部品を浸けて洗浄します。ミルクコンテナ本体は、食器用洗剤を使って、水洗いします。

矢印 (→) で示されている穴や溝、くぼみが詰まらないように、特によく洗ってください。その後、よくすすぎ、各部品に洗剤が残らないようにしてください。



6 乾いたら、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、接続部をふたに戻す

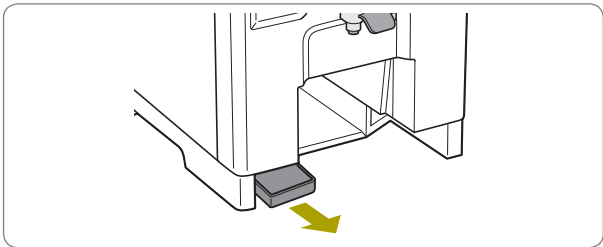
取り外したときと逆の手順で、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、接続部をふたに取り付けます。

7 ふたをミルクコンテナに戻す

トレイ、カップ受け、カス受け、水滴受けを洗う

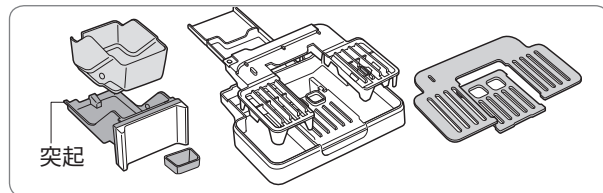
電源を切って行ってください。

- 1 電源を切る
- 2 トレイを取り外す
- 3 水滴受けを取り外す



- 4 それぞれを水洗いする

- 5 乾いたら本体に戻す



カス受けの取り扱いにご注意ください。
背面の突起が破損すると、カス受けが認識されない原因になります。

水タンクを洗う

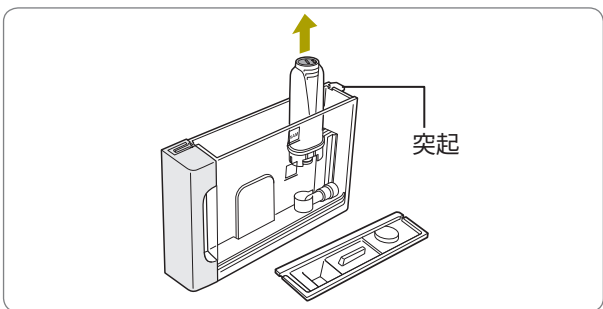
電源を切って行ってください。



水タンクの取り扱いにご注意ください。

- 背面の突起が破損すると、水タンクが認識されない原因になります。
- 背面の給水口が破損すると、水漏れの原因になります。
- 水タンク内の部品が外れないようご注意ください。動作不良の原因になります。

- 1 電源を切る
- 2 水タンクを取り外し、ウォーターフィルターは取り外して流水ですすぐ



- 3 水タンクは食器用洗剤で洗い、よくすすいで乾かす

フィルターは洗剤で洗わないでください。

- 4 ウォーターフィルターを水タンクに戻し、水を入れて本体に戻す

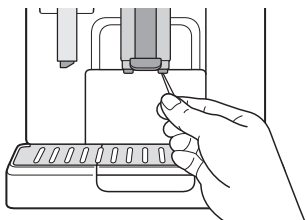
フィルターから水が抜けたときは、水に浸してしっかり空気を抜いてから水タンクに戻してください。

- 5 電源を入れて、100mL程度給湯する

抽出口を掃除する

電源を切って行ってください。

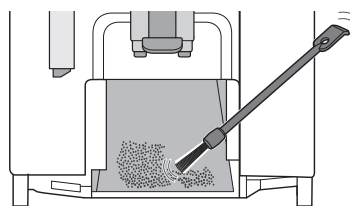
固く絞った濡れ布巾で拭きます。抽出口が詰まっている場合は爪楊枝などを使って取り除きます。



本体内部を掃除する

電源を切って行ってください。

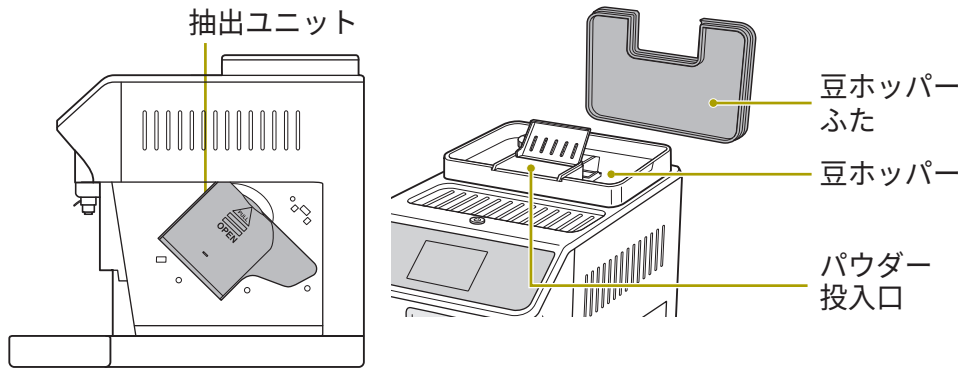
本体内部のコーヒー粉は、付属のクリーニングブラシや固く絞った濡れ布巾を使って取り除いてください。



お手入れ (つづき)

1 カ月に 1 回のお手入れ

1 週間以上使用しなかった場合も、同じお手入れをしてください。



抽出ユニットを洗う

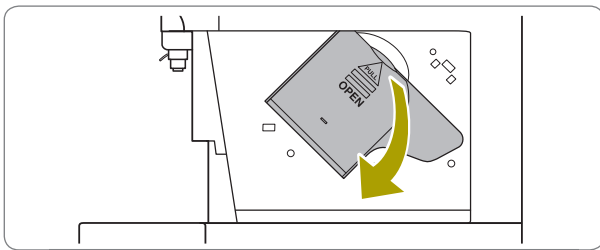
必ず電源を切って行ってください。

1 電源を切る

電源ボタンを押し、動作音が止まるまでお待ちください。

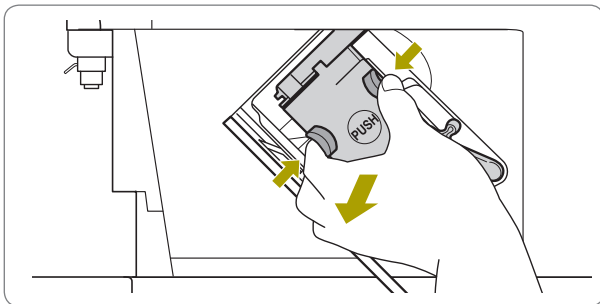
2 水タンクを取り外す

3 抽出ユニットふたを、「PULL」と書かれた部分を手前に引いて開く



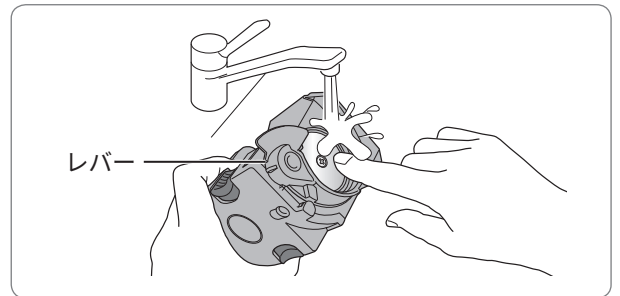
4 抽出ユニットを取り出す

赤いボタン (2箇所) を内側に押し込みながら手前に引いて取り出します。



抽出ユニットが縦向きになって取り外せない場合は、電源を一度入れ、再度電源を切ってください。

5 抽出ユニット上部を流水で洗う



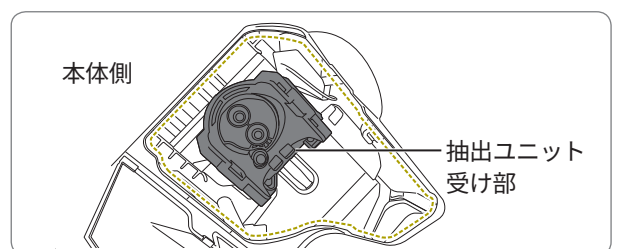
銀色のフィルター部分やレバーの周りなどに残ったコーヒー粉を洗い流します。洗った後は、完全に乾かしてください。

フィルターや伸縮部に塗布されたグリースは、食品機械用潤滑剤です。完全には洗い流さないでください。

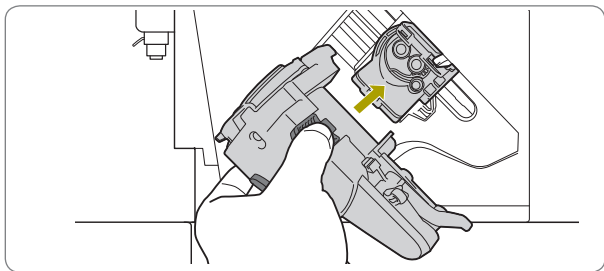


洗剤を使ったり、食器洗い機で洗ったり、水に浸けたりしない (故障の原因)

6 付属のクリーニングブラシで、抽出ユニット受け部周辺のカスを取り除く

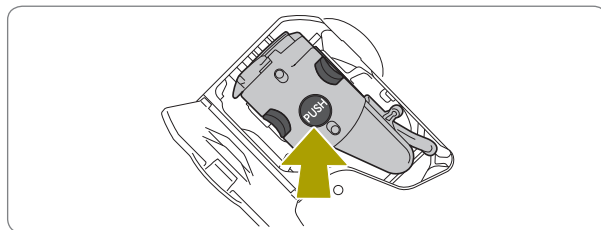


7 抽出ユニットの円筒部分を、抽出ユニット受け部にはめる



8 「PUSH」と表示されている部分を押し、カチッと音がするまではめ込む

はめ込みにくい場合は、赤いボタン（2箇所）を軽く押しながら押し込んでください。



はめ込んだ後に、赤いボタンが押し込まれたままになっている場合は、抽出ユニットが正しく取り付けられていません。一旦取り出してから、取り付け直してください。

9 抽出ユニットふたを閉め、水タンクを取り付ける

抽出ユニットの伸縮動作が固くなってきたら

銀色のフィルター部分を指で押し込んだときの伸縮動作が固くなってきたら、抽出ユニット用グリースを塗布してください。そのまま使用を続けると故障の原因となります。

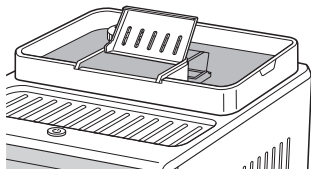
- 抽出ユニット用グリースは、お求めの販売店または当社オンラインショップでお求めください。（45 ページ）

豆ホッパー、パウダー投入口を掃除する

必ず電源を切って行ってください。

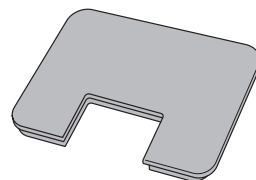
パウダー投入口に残ったコーヒー粉を、付属のクリーニングブラシで取り除いてください。

豆ホッパーは、乾いた布巾で拭いてください。



豆ホッパーふたを掃除する

水洗いした後、よく乾かしてから本体に戻します。



必要に応じてのお手入れ

内部のコーヒー抽出経路

手動内部洗浄を行って、コーヒー抽出経路を洗浄します。（26 ページ）

抽出用にミネラルウォーターや浄水器の水をご使用の場合、週に1度、水道水を水タンクに入れて内部洗浄を数回行うことをおすすめします。水道水の残留塩素で、洗浄効果が高まります。

2日以上使用しなかったときは、手動内部洗浄を2～3回行うことをおすすめします。

本体表面、電源プラグ・コード

水洗いできません。

汚れたときは、固く絞った濡れ布巾で拭きます。汚れがひどい場合は、少量の食器用洗剤をつけた布で拭いてから、濡れ布巾で洗剤をよく拭き取ってください。

石灰（白い付着物）を除去する

ご使用にともない、水の石灰質が徐々に内部管などに付着します。石灰が付着した状態で使用を続けると、故障の原因になります。

石灰の除去が必要な時期になると「石灰の除去をしてください Ok を押して開始」と表示してお知らせします。以下の手順で、石灰の除去を行ってください。

石灰の除去作業（所要時間 1 時間程度）は中断できません。時間の余裕をもって行ってください。

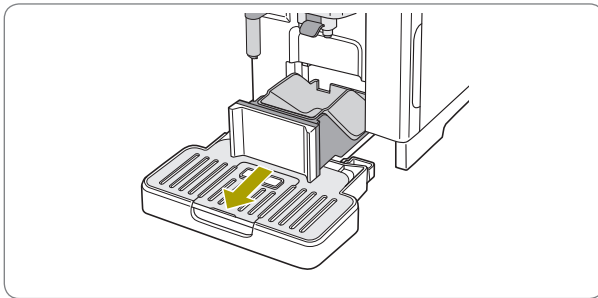
1. 準備する

1 「Ok」をタップして石灰の除去に入る

2 給湯ノズルを取り付ける

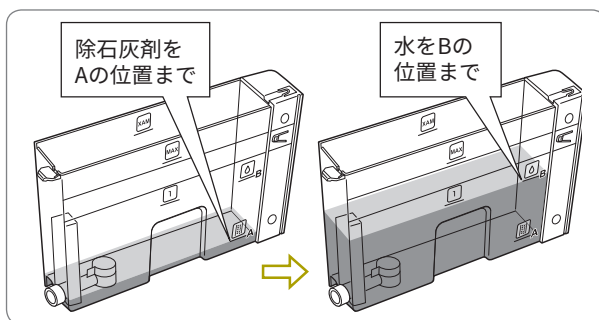
画面の指示に従ってください。

3 トレイを取り出し、トレイの水を捨ててカス受けを空にして元に戻し、「Next」をタップする



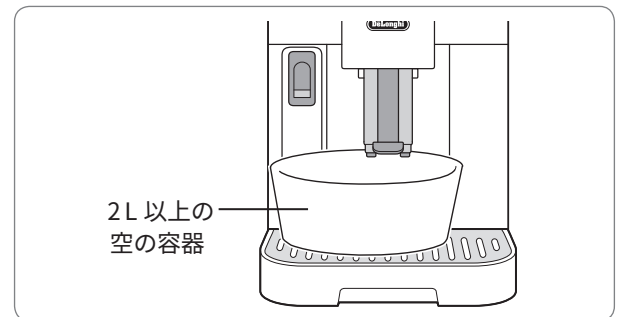
ウォーターフィルターを取り付けている場合は、画面の指示に従って取り外してください。

4 水タンクを空にして除石灰剤を水タンク「A」の位置まで入れた後、水を「B」の位置まで入れ、水タンクを本体に取り付け、「Next」をタップする



2. 洗浄する

1 給湯ノズルと抽出口の下に2L以上の空の容器を置き、「Next」をタップする



石灰の除去が始まります。

洗浄中は、自動で抽出口と給湯ノズルからお湯が出たり止まったりします。

約 40 分経つと水タンクが空になり、石灰の除去は停止します。容器を空にしてください。

3. すずぐ

1 水タンクを外して水でよくすすぎ「MAX」の位置まで新しい水を入れて本体に取り付け、「Next」をタップする

除石灰剤は入れないでください。

2 給湯ノズルと抽出口の下に空の容器を置き、「Next」をタップし 1 回目のすすぎを開始する

水タンクが空になると、1 回目のすすぎが終了します。容器を空にしてください。

ウォーターフィルターを使用していたときは、水タンクにフィルターを取り付けてすすぎを行います。

3 水タンクを外して「MAX」の位置まで新しい水を入れて本体に取り付け、「Next」をタップする

除石灰剤は入れないでください。

4 給湯ノズルと抽出口の下に空の容器を置き、「Next」をタップし2回目のすすぎを開始する


水タンクが空になると、すすぎが終了します。

5 トレイの水を捨て水タンクに水を入れ、本体に取り付け、「Next」をタップする

6 「Ok」をタップし終了する

■ が消えない場合、何らかの原因で石灰の除去が完了していません。その場合は、水だけで3回目のすすぎを実行してください。


表示が出て、すぐに石灰の除去作業が出来ないときは「キャンセル」をタップしてください。故障の原因になりますので、なるべく早く除石灰を行ってください。

1. メイン画面のをタップする
2. 設定画面を「除石灰」が表示されるまでスクロールする
3. 「開始」をタップする
4. 38 ページ手順 **1** から行う

● 除石灰剤が必要な場合は、お求めの販売店または当社オンラインショップでお求めください。(45 ページ)

 **ヒント** 石灰の除去の頻度について






アイコンの表示で石灰の除去の時期をお知らせする頻度は、設定した水硬度レベル（30 ページ）や抽出するメニューによって変わります。レベルを低く設定すると少なくなり、高く設定すると多くなります。

水硬度レベル	1	2	3	4
石灰の除去の頻度	少ない (軟水)			多い (硬水)

表示一覧




表示やメッセージの意味と対処方法を説明します。

表示	説明	対処のしかた
水タンクに目盛 MAX までの水を入れる	水タンクの水が不足しています。	水タンクに水を入れ、本体にしっかり取り付けてください。
水タンクをセットする	水タンクが正しく取り付けられていません。	水タンクをしっかり本体に押し込んでください。水タンク背面上部の突起が破損していないか確認してください。(10 ページ)
抽出ユニットをセットする	抽出ユニットが正しく取り付けられていません。	抽出ユニットを正しく取り付けてください。(36 ページ)
カス受けを空にする	カス受けがいっぱいになっています。	コーヒーカスを捨ててください。カス受けが満杯になっていなくても「カス受けを空にする」と表示されたら、必ずカスを捨ててください。(32 ページ)
カス受けとトレイをセットする	カス受けまたはトレイが正しく取り付けられていません。	カス受けとトレイを本体に正しく取り付けてください。(14 ページ)
お好みのコーヒー粉を追加する 最大：1 杯	コーヒー粉からの抽出が選択されています。	パウダー投入口にコーヒー粉を入れ、「Next」をタップしてください。
豆ホッパーに豆を入れる	豆ホッパーの豆がなくなりました。	豆ホッパーにコーヒー豆を入れ、画面の指示に従い「Next」や「Ok」をタップしてください。(16 ページ)
コールド/ホットミルクコンテナをセットする	ミルクコンテナが本体に正しく取り付けられていません。	ミルクコンテナをしっかり本体に取り付けてください。
新しい設定が保存されませんでした	マイメニューの設定中にXをタップ、または他の理由で中断されました。	画面に指示が表示されている場合は従ってください。
抽出を完了できませんでした 豆量を減らしてください	豆の挽き具合（粒度）が細かすぎて、抽出が遅い（またはされない）状態です。	豆量を少なくしてください。(17 ページ) グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に1目盛り回してください。(31 ページ)
	本体の水経路に空気が入り、抽出されない状態です。(ウォーターフィルター使用時)	お湯が出るまで給湯してください。(23 ページ)
豆量またはコーヒー粉の量を減らしてください	コーヒー豆または粉の量が多すぎます。	豆量を少なく設定するか、コーヒー粉の量を減らしてください。
ミルクコンテナは冷蔵庫に保管してください	ミルクメニューの抽出は終わりましたが、ミルクコンテナがセットされませんでした。	ミルクコンテナを取り外し、冷蔵庫に入れてください。
石灰の除去をしてください	石灰の除去が必要です。	「Ok」をタップし、画面の指示に従い石灰の除去を行ってください。または「キャンセル」をタップして、後で石灰の除去を行ってください。
ウォーターフィルターを交換してください Ok を押して開始します	ウォーターフィルターの交換が必要です。	「Ok」をタップし、ウォーターフィルターを交換してください。または「キャンセル」をタップして、後でウォーターフィルターを交換してください。
エラー： 説明書またはアプリを確認	本体内部が汚れています。	抽出ユニットを洗浄し、正しく取り付けてください。解決しない場合は、当社へご連絡ください。(46 ページ)

表 示	説 明	対処のしかた
空気抜きが必要です	本体の水経路に空気が入っている状態です。	「Ok」をタップし、給湯ノズルから水を出してください。 解決しない場合は、水タンクをしっかりと本体に押し込んでください。 (14 ページ)
	新しいウォーターフィルターが取り付けられました。	ウォーターフィルターを正しく取り付けてください。(29 ページ) 解決しない場合は、ウォーターフィルターを取り外します。
	節電モードが「入」に設定されています。	節電モードは入/切を設定できます。(28 ページ)
	石灰の除去が必要です。	石灰の除去を行ってください。(38 ページ) 石灰を除去するまで、  が表示されます。
	ウォーターフィルターの交換が必要です。	ウォーターフィルターを交換または取り外してください。(30 ページ)
	ミルクコンテナのミルク吸入チューブを洗浄する必要があります。	フロス調整つまみを「Clean」に合わせてください。(20 ページ)

故障かな？

症状	考えられる原因	対処のしかた	
コーヒーがぬるい	エスプレッソの温度は 67 ～ 70°C前後が理想とされています。一般的なドリップコーヒー (85°C前後) と比べてぬるく感じるがありますが、異常ではありません。		
	カップが温まっていない	給湯を行いカップを湯煎してください。(23 ページ)	
	本体内部が温まっていない	手動内部洗浄を行い、本体内部を温めてください。(26 ページ)	
	抽出温度の設定が低い	抽出温度を「レベル3」に設定してください。(26 ページ)	
コーヒーがクリーミーでない (クレマがない/少ない) 抽出が早すぎる	からの抽出豆	コーヒー豆の挽き具合が粗すぎる 適切な豆を使用していない	グライNDERノブを細かいほう (反時計回り) に 1 目盛回してください。(31 ページ) 新鮮なエスプレッソ用の豆を使用してください。(7 ページ)
	からの抽出粉	コーヒー粉の量が少なすぎる 適切なコーヒー粉を使用していない	コーヒー粉の量を増やしてください。(最大：計量スプーン山盛り 1 杯) 新鮮なエスプレッソ用の粉 (極細挽き～細挽き) を使用してください。(7 ページ)
	抽出口や抽出ユニットが目詰まりを起こしている		抽出口や抽出ユニットのお手入れをしてください。(35、36 ページ)
	挽かれたコーヒー豆の量が多すぎる コーヒー豆の挽き具合が細かすぎる		コーヒー豆の量を減らしてください。 グライNDERノブを粗いほう (時計回り) に 1 目盛回してください。(31 ページ)
抽出が遅い (ポタポタとしか抽出されない) 抽出されない	からの抽出豆	コーヒー粉の量が多すぎる 電源が「切」のときにコーヒー粉を投入した	投入するコーヒー粉の量を減らしてください。 内部に粉が飛び散るため、本体内部および抽出ユニットのお手入れを行ってから再度抽出してください。(35、36 ページ)
	からの抽出粉		
カフェ・ジャポネ抽出中に音がする	カフェ・ジャポネは、エスプレッソとは違った方法で抽出します。故障ではありません。		
コーヒーが抽出されない	本体の水経路に異物などが入っている	抽出できるようになるまでお待ちください。しばらく経っても変わらない場合は、当社へご連絡ください。(46 ページ)	
大きな音がして抽出口からコーヒーなどが出ない	本体の水経路に空気が入っている	給湯してください。(23 ページ)	
左右の抽出口から出るコーヒーの量が違う	片方の抽出口が詰まっている	抽出口をお手入れしてください。(35 ページ)	
	本体が水平に設置されていない	水平に設置してください。	
Ⓛ ボタンを押しても電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	
コーヒーが水っぽい	豆ホッパーまたはパウダー投入口が詰まっている	残ったコーヒー粉を付属のクリーニングブラシで取り除いてください。(35 ページ)	
抽出量が少なすぎる	水タンクの水が不足している	常に水タンクの 1 のラインまで水を入れてください。	

症 状	考えられる原因	対処のしかた
お手入れの際、抽出ユニット が取り外せない	本体の電源が入った状態で取り外そうと した	抽出ユニットは、電源が切れているとき のみ取り外すことができます。本体の電 源を切ってから取り外してください。 (36 ページ)
石灰の除去が完了しても 3 回 目のすすぎを要求される	2 回目のすすぎで、水タンクに MAX の位 置まで水を入れなかった	トレイの水を捨ててから、画面の指示に 従い 3 回目のすすぎを行ってください。
フロスマルクが適量出てこない	ミルクの通り道が詰まっている	ミルクコンテナやスチーム管、ミルクノ ズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整 つまみを洗浄してください。(34 ページ)
	洗浄の後ミルクコンテナが正しく組み立 てられていない	ミルクコンテナを正しく組み立ててくだ さい。(34 ページ)
ミルクの泡立ちが悪い Ⅱ フォームミルクがうまくできない	鮮度、温度、種類ともに不適切なミルク を使用している	新鮮で冷えたミルクを使ってください。 ホットとコールドで使用できる種類が異な ります。(7 ページ)
	ミルクの通り道が詰まっている	ミルクコンテナやスチーム管、ミルクノズ ル、ミルク吸入チューブをお手入れしてく ださい。(34 ページ)
	フロス調整つまみの溝に水が入っている	つまみを取り外し、乾かしてから取り付け てください。
グラインダーにコーヒー豆が 引き込まれない	油分の多いコーヒー豆を使用している	油分によって豆が豆ホッパーに付着して しまい、グラインダーに引き込まれない ときは、豆ホッパーを乾いた布巾で拭い てください。
お手入れ後、トレイを正しい 位置に取り付けられない	水滴受けが正しく取り付けられていない	水滴受けを正しく取り付けてください。
トレイから蒸気が出たり水が 漏れる	トレイが正しく取り付けられていない	トレイを正しく取り付けてください。
テイクアウトメニューの量が 少なすぎるまたは多すぎる	サイズ（抽出量）が正しく設定されてい ない	タンブラーサイズに合わせて小  中  大  を設定してください。
タンブラーが置けない	トレイのフラップが上がっていない 抽出口の位置が低すぎる	トレイのフラップを上げてください。 抽出口の位置を上げてください。

抽出量

メニュー		初期設定	設定範囲	
コーヒー メニュー	エスプレッソ	30mL	20 ~ 180mL	
	エスプレッソ × 2	60mL	40 ~ 360mL	
	カフェ・ジャポアーネ	180mL	115 ~ 250mL	
	スペシャルティ	180mL	100 ~ 240mL	
	ドッピオ+	120mL	80 ~ 180mL	
	アメリカーノ	コーヒー	40mL	20 ~ 180mL
		給湯	110mL	50 ~ 300mL
	コーヒーポット	500mL(4杯)	2杯 ~ 6杯	
	アメリカーノ (コールド)	コーヒー	40mL	—
給湯		90mL	—	
アイスコーヒー	100mL	—		
メニュー		コーヒー抽出量 (設定可能範囲)	ミルク抽出量 (設定可能範囲)	
ミルク メニュー	カプチーノ	30mL(20 ~ 180mL)	120mL(20 ~ 260mL)	
	カプチーノ+	120mL(80 ~ 180mL)	70mL(20 ~ 260mL)	
	カプチーノ MIX	80mL(30 ~ 180mL)	70mL(20 ~ 260mL)	
	ラテマキアート	30mL(20 ~ 180mL)	150mL(20 ~ 260mL)	
	エスプレッソマキアート	30mL(20 ~ 180mL)	30mL(20 ~ 260mL)	
	カフェラテ	30mL(20 ~ 180mL)	150mL(20 ~ 260mL)	
	フラットホワイト	60mL(30 ~ 180mL)	120mL(20 ~ 260mL)	
	コルタード	40mL(20 ~ 180mL)	30mL(20 ~ 260mL)	
	ミルク	—	100mL(20 ~ 260mL)	
	カプチーノ (コールド)	65mL	100mL	
	カプチーノ MIX (コールド)	65mL	100mL	
	ラテマキアート (コールド)	65mL	175mL	
	カフェラテ (コールド)	65mL	230mL	
	フラットホワイト(コールド)	60mL	115mL	
	コールドミルク	—	190mL	
メニュー		初期設定	設定範囲	
その他	お茶メニュー	150mL	20 ~ 420mL	
	給湯	100mL	20 ~ 420mL	

Mサイズの場合（コーヒーポットを除く）。コールドメニューは氷：普通の場合。

数値は目安です。お使いになるコーヒー豆やミルクの状態、マシンの設定や使用環境により変わる場合があります。

仕様

製品名称	デロンギ エレッタ エクスプロア 全自動コーヒーマシン	
型式番号	ECAM45055	
定格	電圧／周波数	100V / 50-60Hz
	消費電力	1450W
外形寸法 (約)	幅 260 × 奥行 450 × 高さ 385 (mm)	
質量 (約)	12kg	
水タンク容量	1.8L (MAX の目盛り)	
ミルクコンテナ容量	ホットメニュー用 500mL コールドメニュー用 390mL	
豆ホッパー容量	300g	
豆量設定 (約)	エスプレッソ 1 杯抽出：約 7~12g、2 杯抽出：約 11~14g、スペシャルティ：約 8~14g、 カフェ・ジャポネ：約 12~19g、アメリカーノ：約 7~12g、 ドッピオ+、カプチーノ：約 14g、フラットホワイト：約 10~14g、 ラテマキアート、マイラテ：約 10~14g	
コーヒー粉使用	使用可 (最大：計量スプーン山盛り 1 杯)	
カス受け容量	1 杯抽出：14 回分 2 杯抽出：10 回分	
グラインダー	コーン式コーヒーグラインダー	
付属品	計量スプーン、アイストレー (製氷皿)、コーヒーマシン用除石灰剤、水硬度チェッカー、 クリーニングブラシ、ウォーターフィルター	

※ 待機電力は約 0.5W 以下です。

別 売 品

- 抽出ユニット
- 抽出ユニット用グリース
- 水硬度チェッカー
- ミルクコンテナ (ホットメニュー用)
- ミルクコンテナ (コールドメニュー用)
- アイストレー (製氷皿)
- タンブラー (470mL) [型番：DLSC073]
- コーヒーマシン用ウォーターフィルター [型番：DLSC002]
- コーヒーマシン用除石灰剤 (2 個入り) [型番：DLSC200]
- コーヒーマシン用除石灰剤 (500mL ボトル) [型番：DLSC500]
- エコマルチクリーン [型番：DLSC550]
※ ミルクコンテナやノズルに付着した乳成分の除去に最適な洗剤

お求め方法 ▶ お買い上げの販売店または当社オンラインショップでお求めください。
オンラインショップ URL ▶ <http://shop-casa-delonghi.com>

アフターサービス

1) 使用中に異常（★）が生じた場合

ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「表示一覧」「故障かな？」（40～42ページ）で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

- ――― ★以下のような場合には、点検および修理が必要です ―――
- ・使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる
 - ・電源プラグ・コードが変形、破損している
 - ・本体に強い衝撃を与えた
 - ・本体に水などの液体をこぼした
 - ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に

1. お買い上げ日 2. 製品名と型式番号 3. 故障の状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

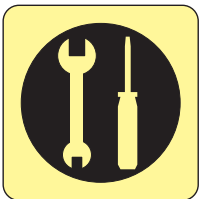
※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります（補修用性能部品保有期間内）。

3) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4) まごころ点検について



保証期間（1年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、下記までお問い合わせください。

5) 再資源化システムについて

ご不要になった製品は、当社が費用を負担し、素材ごとに分別、再資源化いたします。



送料について：送料はお客様のご負担（元払い）となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター

（受付時間 ▶ 土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00）

Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページでのお問い合わせ（URL） <https://www.delonghi.co.jp/inquiry/>

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

製品名：デロンギ エレッタ エクスプロア 全自動コーヒーマシン		
型式番号：ECAM45055		
お客様	ご氏名： _____ 様	TEL： _____
	ご住所：〒 _____	
販売店	※店名・住所・TEL： _____ 印	
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日	保証期間：お買い上げ日より1年間	保証対象：本体

見本

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
 - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失

- 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
- 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
 - 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービス」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

デロンギ・ジャパン株式会社

TEL.0120-804-280 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。

アフターサービス

保証書

